# 学校における危機管理 ~児童生徒の安全のために~

千葉県公立高等学校事務職員会 君津支部研究グループ 発表者 千葉県立君津高等学校 副主査 角 田 良 一

## 1 はじめに

大阪教育大学付属池田小学校の事件、大阪府寝屋 川市立中央小学校の事件をはじめとする、学校への 不審者侵入事件は、児童生徒の安全を脅かした事件 として、社会全体に大きな影響をあたえました。

不審者の校内への侵入だけでなく、学校の内外に おけるさまざまな事件、事故は日常的に報道されて います。これら顕在化された事件、事故だけでなく、 潜在化されている要素も多様に抱え込んだ現代社会 にあって、いつ起こるとも限らない事件や事故から、 いかに児童生徒の生命を守るか、いかに学校を守る か、ということを強く考えずにはいられません。

予算執行、施設管理、人事給与事務、情報公開と 個人情報の保護、接遇など、私たち事務職員がかか える様々な実務の中で、何よりも優先されなければ ならないのは、児童生徒の命を守ること、児童生徒 の安全を確保することではないでしょうか。 この観点から、私たちは、学校における「危機管理」をテーマに研究を進めることにしました。当初はあまりに漠然としていて、どこから手をつけてよいやら見当がつかないという暗中模索の状態でしたが、まず自分たちが「実際に体験した危機」を挙げ、それらを一つ一つ検証してみることにしました。

その中にこそ、机上論の危機管理ではなく、実体 験に基づいた危機管理のヒントが隠されているにち がいない、と考えたからです。

つづいて、それらを、不審者侵入の危機、登下校 の危機、校内の急病人・怪我人発生の危機、スクー ルバス運行における危機などに、大きく分類しなが ら、各分類における、危機管理すべき項目をすべて 挙げて、「危機管理(リスクマネジメント)」の手 法、ならびに「マネジメント・サイクル(PDCA)」 の手法を用い、更には数値による行政評価を加えて、 事務職員としての危機管理に具体性を持たせる取り 組みをしてみました。

あっ! 不審者 どこからでも・・・



(来客用玄関)



(生徒昇降口)

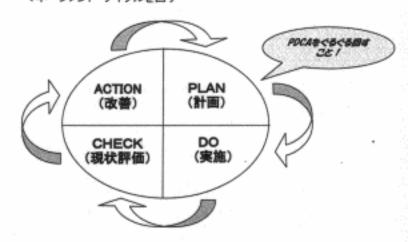
# 2 実際に発生した事例(110件の事例より抜粋)

|    | - 4     | è    | 生し  | t                                       | #                                 | 項                   |               | -              | -    |                        | -   |       | T .        |                   |               |            |
|----|---------|------|---|---|-----------------------------------|---------------------|---------------|----------------|------|------------------------|---|-------|------------|-------------------|---------------|------------|
| No | 時間      | 場所   | 内   | 容                                       |                                   |                     | 対             | 応              | 内    | 容 等                    | 結   | 果     | 反          | 110               | Ä             | 等          |
| 1  | 夜       | 2    | 隣接住民より、「生徒がま<br>に、塀を壊して出入りして<br>りをしている。いつも散ら<br>散乱している。」、「どの』<br>ぐに環場を見にこい。」と | いる。」そして<br>かしっぱなし。<br>ような指導をし<br>の苦情を受け | 、「駐車場に<br>」、「タパコの<br>ているのか?<br>る。 | て酒盛<br>吸殻が<br>?」、「す | た。<br>その後、    | 生徒指導           | 非部職員 | Lが対応する。                | 当事者同士ではなく<br>立会いを求める。                       | 、賢察の  |            |                   |               |            |
| 2  | 日中      | 学校   | 大音量のオートバイが枝<br>来たりしている。   | 内に侵入し、                                  | 学校周辺を行                            | うったり                |               | 専担当が!<br>は警察に  |      |                        | ほとんどが逃げられ<br>警察でも対応に手を<br>るようで取り押さえて<br>ない。 | 焼いてい  | いもの        |                   | めてはい<br>をしたい  |            |
| 3  | 休日      | 校會内  | 不審者が侵入してきた。   |   |                                   |                     | 発見した          | 教員が日           | 合いかけ | ō.                     | 速げられる。                                      |       |            |                   | を確認、2<br>を行う。 |            |
| 4  | 日中      | 玄関前  | 不審車両が侵入してきた   | :.                                      |                                   |                     | 職員が整<br>不能であ  |                | ンバーを | チュックしたが、解り             | 出て行った。                                      |       | 1000       | -                 | べきかと<br>認したい  |            |
| 5  | 朝       | 校内   | シンナー常用者が登校する<br>会いに来た)  | 生徒に紛れて                                  | 侵入。(女子                            | 生徒に                 | 取り押さ          | え、警察           | に通報  | する。                    | 警察につかまった。                                   |       | 登校指        | 導の                | 検討。           |            |
| 6  | 日中      | 敷地内  | 暴走族が侵入し、傘立て<br>対応の教員に暴力をふる  |   | <b>*.</b>                         |                     | 通剰防御          | 着とならな          | いようり | を載しなかった。               | 対応した教員は歯を<br>怪我を負った。                        | 折るなど  | 過剰防たい。     | 衛等の               | )基準を          | 確認し        |
| 7  | 下校中     | 雅話   | 生徒が事故にあった(ひ   | き逃げ)という                                 | 連絡を受ける                            | 5.                  | 担任は現          |                | き、生徒 | ・<br>の搬送を行う。<br>a格を行う。 | 生徒は捻挫で済んだは見つからない。                           | きが、犯人 |            | を覚え               | ておくな          |            |
| 8  | 放課後     | 電話   | 変質者(露出狂)が女生後<br>きたと携帯電話で連絡があ  |   | りをして車では                           |                     |               | 見場に向け<br>を警察に  |      | ō.                     | 関もなく警察につか                                   | まった。  | 緊急を<br>通報を |                   | ときは、          | 110番       |
| 9  | (夏季休業中) |      | 部活動終了後下校途中<br>度熱中症で倒れていた)   |   | た(都活動中                            | 中二七輕                |               |                |      | がとれなかった。               | 長期間意識不明。<br>一時、慰謝料請求の<br>たが、意識回復し無          |       | 底を行        | ð                 | その確保          |            |
| 10 | タ方      | 電話   | 駅で生徒が喧嘩している   | 。タバコを吸                                  | っている。                             |                     | 生徒指導          | 単担当に           | 連絡をす | rā.                    | 確認がとれなかった                                   |       | 生徒指        | 導の                | 放底をする         | 5.         |
| 11 | タ方      | 電話   | 生徒が小学生を叩いた。   |   |                                   |                     | お詫びを<br>生徒指導  | する。<br>単担当にi   | 連絡を1 | rā.                    | 無事決着する。                                     |       | 生徒指        | 導の                | 改進をする         | 5.         |
| 12 | 土曜日     | 陸橋の  | 生徒が倒れた。(インシュ  | リンをうってし                                 | いる生徒)                             |                     | 119番組         | 重報する。          |      |                        | 無事回復する。                                     |       | 生徒の<br>管場所 | 40.400.46         | 糖のデー          | ータ保        |
| 13 | 日中      | 電話   | 半日授業の午後学校に<br>た。  | 暴弾を仕掛け                                  | たとの電話が                            | あっ                  |               | 画報する。<br>党内巡視を |      |                        | いたずらだとわかる。<br>刑事に一言一句確認さ                    | きれた。  | 録音装かった。    |                   | った方か          | <b>『良</b>  |
| 14 | 日中      | 窓口   | 卒業生の保護者(精神障<br>て来校した。(学校に思え   |   |                                   | 申し出                 |               | S断りをし<br>複数で対応 |      | 得しないため、参               | 一応帰った。                                      | V We  | 複数対        | 応が貧               | ほしい。          |            |
| 15 | 묲       | 校内   | 近所の精神障害者が学れた。   | 校に入り込み                                  | 、校内をうろう                           |                     |               | 察に連            |      |                        | 警察で保護してもら                                   |       |            |                   |               |            |
| 16 | 巫       | 校内   | 生徒が4階から落ちた。   |   |                                   | - 1                 |               | 細わから           |      | 敬急車を依頼し<br>膝の質問の対応     | 病院に搬送し、治療<br>【骨折だった】                        | を受けた。 | 教急車ルの登     |                   | ときのマ          | =27        |
| 17 | 日中真冬    | グランド | 工事の作業員が急病で<br>関係施設の建設中)   | 到れる。(市に                                 | 使用許可した                            | -災害                 | 119番達         | 重報する。          |      |                        | 死亡、現場検証、検                                   | 死を行う。 | 心肺群        | 生の証               | 糠の必           | <b>责性。</b> |
| 18 | 朝       | 内    | 生徒がテニスの朝練中に<br>出動)  | - 11 1 1 1                              |                                   |                     | ō.            |                |      |                        |   |       |            |                   | の必要性制の整体      |            |
| 19 | 日中      | 內    | 職員が応接室から体調で<br>スクールバス後部と自家  |   |                                   |                     |               | 「膨し、病          |      |                        | 病気により夕方手術<br>修理費を負担する事                      |       | 安全運        | 転の物               | 魔を指導          | なした。       |
| 20 | 日中      | 窓口   | こした。<br>バス側は気付かずに走り<br>ロに来校した。  | り、被害者が与                                 | 校まで追跡し                            | し. 宮                | 関で対応          | する.            |      |                        | 修理の金額が正当な<br>者に確認をした。                       | ものか業  |            |                   |               |            |
| 21 | 日中      | 電話   | 「体育祭の準備の音がう<br>苦情があった。  |   |                                   | 7                   | 教頭に内          | 医施予定日<br>日容を連載 | をする。 |                        | 以後、同一人物からない。                                |       | 知すべ        | きであ               |               | に関         |
| 22 | 日中      | 窓口   | グランドから道路に飛ん・<br>車にあたり、へこみができ  |   |                                   |                     | 被害者の          | 車のディ           | ーラー  | にて修理を行う。<br>こてもらう。     | 修理費を負担する事<br>た。修理費金額が正<br>か業者に確認する。         |       | すれば、       | 容の確<br>よいか<br>外な計 | 認方法を          | たと         |
| 23 | 日中      | 窓口   | 自分で切貼りした教育関   | 係の新聞を買                                  | ってくれと来                            |                     | A. Alexander  | 対応する           |      |                        | 一応帰った。                                      |       | 対応マ        | .7د               | レの整備          | 4          |
| 24 | 日中      | 窓    | 来客者の名刺を窓口にて<br>クレームがあった。<br>名刺は預かった時点で汚                                       |   |                                   | にたと                 | その場で          | 聞る。            |      |                        | 一応決着した。                                     |       | 受領のがある。    |                   | 認をする          | 必要         |
| 25 | 日中      | 学校   | 通学時や作業中に生徒(   | 知的障害)が                                  | 行方不明にな                            |                     | 家庭連続<br>素を行う。 |                | 域分担  | こよる職員で捜                | 交通機関や立回り先か<br>により発見された。                     | らの通報  | 生徒の        | 助静の               | 把握を復          | 地子         |

# 3 君津地区「危機管理」の研究発表の全体観

実際に経験してきた数多くの実例を基にしながら、見金生徒の安全を確保するために、なされなけれ ばならない様々な危機管理を明確にするとともに、その中で事務職員として取り組むべき事柄を浮き 彫りにし、その遂行をマネンジメント・サイクル(PDCA)によって政策評価していく。

## (1) 学校全体や一人ひとりが、取り組むべきこと マネージメント・サイクルを回す

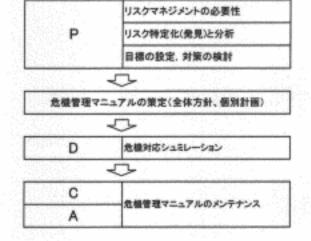


| Р | PLAN<br>(計画)    | 改善方針を具体化し、次年度の<br>実行計画を策定する。 |
|---|-----------------|------------------------------|
| D | DO<br>(実施)      | 計画に沿って政策を実施する。               |
| С | CHECK<br>(現状評価) | 得られた成果を評価し、課題を<br>検証する。      |
| Α | ACTION<br>(改善)  | 評価結果を受け、課題に対する<br>改善方法を検討する。 |

#### (2) 危機管理(リスクマネジメント)の手順

# (1)危険の発見 →自分の職場にどのような危険があるか洗い出す (2)危険の損害 ・危険の内容を評価・分析する ・危険の発生する可能性のある頻度と危険による損失の の測定 程度を測定 (3) 危険処理手 股の決定 ・危機処理手段の決定(リスクコントロール) ・危機管理計画 ・事実とその内容の確認 ・現場の対応、関係先への連絡 ・最多事態に対する方策、方針決定 ・緊急対策本部の設置 ・緊急等態の原因と安全対策の調査 ・情報展示とマスコミ対策 (4)危機発生時 の対応 原因の究明と再発助止対策 充機管理対策の評価 補償問題、責任問題の検討 住民地関係支への報告と設明 (5)危機管理の 事後対応

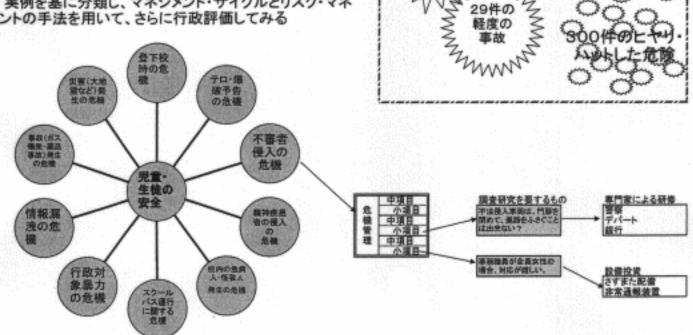
# 危機管理(リスクマネジメント)の進め方



ハインリッヒの法則(1:29:300)

事故~

(3) 実例を基に分類し、マネジメント・サイクルとリスク・マネジメントの手法を用いて、さらに行政評価してみる



単校における危機管理のマネジメント・サイクル(PDCA)と行政評価(1)≪不審者侵入の危機≫

| (全級しだす。対象の設別にあり。 (全級しだす。対象の設別にあり。 (全級しだす。対象の設別にあり。 (金属   |
|--|
| SOLE TO THE POST OF THE POST O |

| 4 休日時の不審者の優入          | 原則として不審者の侵入(人的被害あり)に同じ |                                       |
|-----------------------|------------------------|---------------------------------------|
|                       | 連絡体制の確保                | 既後編誌銀による編誌(休田の本)                      |
| 5 施設・物品に対する被害         | 第1次対応(連絡・整告)           | -   神経条件を一(文務指数詞) くの神一語、細胞、窓座         |
|                       | お金額の製造                 | 職場の応急処置                               |
|                       | 第2次对応(議略・集告)           | 大川田<br>  十枝素素質子(尿塩素物理) への大沢竜布(容泰・器国等) |
| 車両の進入                 | 製造験の使入に同じ              |                                       |
| 7 薬物・飲酒による酩酊者の侵入      | 不審者の侵入(人的被害あり)に同じ      |                                       |
| 8 変質者の侵入(人的被害あり)      | 不審者の侵入(人的被害あり)に同じ      |                                       |
| (人) を買者の侵入(人) (対策害なし) | 不響者の侵入(人的被害なし)に同じ      |                                       |
| -                     |                        |                                       |

| 1     |  |
|-------|--|
| - 1   |  |
| 100   |  |
| - 22  |  |
| m     |  |
| N     |  |
| 20    |  |
| - 40  |  |
| - 42  |  |
| .70   |  |
| . 90  |  |
| - 350 |  |
| -     |  |
| · m   |  |
| - 63  |  |
| -     |  |
| 100   |  |
| -     |  |
| -     |  |
| -     |  |
| 40    |  |
| . "   |  |
| -6    |  |
| - 79  |  |
| -44   |  |
| - 44  |  |
| 144   |  |
| -     |  |
| -     |  |
| 100   |  |
| 2     |  |
| 4     |  |
| L AU  |  |
| m     |  |
| ж     |  |
|       |  |
| -     |  |
| •     |  |
| - 4   |  |
| - 44  |  |
| in    |  |
| 44    |  |
| 14    |  |
| 72    |  |
| 191   |  |
| F/    |  |
| 10    |  |
| 15    |  |
| 夜     |  |
| 17    |  |
| =     |  |
| 10    |  |
| 85    |  |
| 72    |  |

| Pが設<br>可ニュアル<br>副職<br>職権対応<br>概念<br>概念<br>概念<br>概念<br>解象<br>概念<br>解象<br>概念<br>解象<br>概念<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象<br>解象           |   |
|--|---|
| 予防強<br>職権対応<br>職権対応<br>連動機<br>政急<br>政急<br>政急<br>政急<br>政急<br>政急<br>政急<br>政急<br>政急<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政<br>政            | 報告名   |
| マニュアル<br>副職<br>職権対応<br>事権の条柄確保<br>連位連絡体制の確保<br>服急対策本格の除産<br>緊急対策本格の除産<br>事後対応:後素銀行の判断<br>事後対応:後表銀行の判断<br>事後対応:後限数長(アカウンタビリティ)<br>事後対応:金銭の下校手段                |   |
| マニュアル<br>副編<br>職場対応<br>本権者の各権政僚<br>連信連絡体制の確保<br>関急避難維勝の確保<br>緊急避難維勝の確保<br>緊急避難維勝の確保<br>事後対応: 投業破行の判断<br>事後対応: 投票銀行の判断<br>事後対応: 投票銀行の判断<br>事後対応: 投票銀行の対断      | 吹口犬い周辺の警備(吹口の吹呼にないか、着我は別定されているかなど)<br>未客出入り口を開定する(集門の施設など)<br>米客の完全事職(防犯カギツ設置、チャイム設置など)<br>米客受付簿・入役許可証の設置 |
| マニュアル<br>副機<br>職場対応<br>本権者の身柄機像<br>連信連絡体制の確保<br>緊急対策本部の除置<br>事後対応:後継続行の判断<br>事後対応:後級6行の判断<br>事後対応:後期間任(アカウンタビリティ)<br>事後対応:後期間任(アカウンタビリティ)                    | 職員や警備員による学校内外の返回<br>学校展型の書店・住民との選携(不審者発見の情報提供など)  |
| 製業<br>製業が成<br>事業をのき機関係<br>国金運輸機器の確保<br>関急対策本節の設置<br>事後対応:生機の下後手段<br>事後対応:生機の下後手段<br>事後対応:生機の下後手段<br>事後対応:生機の下後手段   | 不審者侵入の対応マニュアルの整備  |
| 不審者の身構確保<br>連信連絡体制の確保<br>服急運動維持の確保<br>服急運動維持の確保<br>緊急対策本部の設置<br>事後対応:投票総行の判断<br>事後対応:監明責任(アカウンタビリティ)<br>事後対応:監明責任(アカウンタビリティ)<br>事後対応:監明責任(アカウンタビリティ)         | 関棒の実施<br>不審者発見、事件発生の第一帳(仮令、校内談送、女対階知機発幅など)  |
| 本権者の身権確保<br>連修連絡体制の確保<br>緊急避難維持の確保<br>緊急対策未能の設置<br>事後対応: 投資銀行の判断<br>事後対応: 監修の下校手段<br>事後対応: 監修更任(アカウンタビリティ)<br>事後対応: 監修更任(アカウンタビリティ)<br>事後対応: 監修更任(アカウンタビリティ) | 高級の政策条件<br>直接対応(起止作数)   |
| 不審者の身際確保<br>連信連絡体制の確保<br>服急避難維勢の確保<br>緊急対策本節の設置<br>事後対応:投棄銀行の判断<br>事後対応:起卵責任(アカウンタビリテイ)<br>事後対応:監閉責任(アカウンタビリテイ)<br>事後対応:監閉責任(アカウンタビリテイ)                      | 的時間具(さすまた。確認スプレーなど)<br>写真体的   |
| 連信連絡体制の確保<br>緊急避難維禁の確保<br>緊急対策本部の設置<br>事後対応:接集銀行の判断<br>事後対応:監視責任(アカウンタビリティ)<br>事後対応:監視責任(アカウンタビリティ)<br>事後対応:監視責任(アカウンタビリティ)                                  | 発養機能(ローブ、   |
| 服急<br>服急対策率節の債優<br>服急対策率節の債置<br>事後対応: 投票機行の判断<br>事後対応: 監視責任(アカウンタビリティ)<br>事後対応: 監視責任(アカウンタビリティ)<br>事後対応: 主債・職員のものケア  | <b>音響にいるのというがい</b><br>最後と新華戦略の当時(作を、女権教授、お女女法 ハンドレイの 海共物学 有点  |
| 概念<br>緊急避難維整の確保<br>緊急対策本能の設置<br>事後対応: 投棄銀行の判断<br>事後対応: 監視の下校手段<br>事後対応: 監視原任(アカウンタビリティ)<br>事後対応: 監視原任(アカウンタビリティ)<br>事後対応: 主機・階員のものケア                         | 現場と事務室の連絡(低や、内線電話、校内放送、ハンドマイン、現帯電話、無線   |
| 概念<br>緊急避難機器の確保<br>緊急対策本能の設置<br>事後対応: 投業機行の判断<br>事後対応: 監視責任(アカウン9ビリティ)<br>事後対応: 監視責任(アカウン9ビリティ)<br>事後対応: 主機・職員のものケア  | 校内関係部署に道路(仮令、内部復語、校内放送、ハンドマイク、発帯電話、集組4110等延載(令参議者な参)  |
| 森  | 11の縁が鹿(布却)  |
| 森  | 語音手段の音楽(集体無辞券)  |
| <ul> <li>股急型輪線等の確保</li> <li>緊急対策本等の設置</li> <li>事後対応:投業機行の判断</li> <li>事後対応:監視責任(アカウンサビリティ)</li> <li>事後対応:監視責任(アカウンサビリティ)</li> <li>事後対応:主機・職員の心のケア</li> </ul>  | 報員の振券監防器等の一覧  |
| 概念<br>服念選載機能の確保<br>服念対策本節の設置<br>事後対応:・投票値行の判断<br>事後対応:・監切責任(アカウンサビリティ)<br>事後対応:・監切責任(アカウンサビリティ)<br>事後対応:・監切責任(アカウンサビリティ)                                     | 8   |
| 原施<br>服急対策本部の設置<br>事後対応:投業機行の判断<br>事後対応:監視責任(アカウンサビリテイ)<br>事後対応:監視責任(アカウンサビリテイ)<br>事後対応:主機・職員のものケア   | 3   |
| 版<br>(ウンタビリティ)<br>0のケア   | 主事の現場の  |
| ##<br>##<br>##<br>###<br>###<br>#####################  | 概要のく記画機器  |
| ##<br>##<br>##<br>###<br>#########################   | 被害者の家族、保護者への連絡  |
| ##<br>##<br>################################   | 設整場所の安全協会   |
| ##<br>#<br>##<br>##############################  |   |
| ##<br>##<br>################################   | の際に関いた関節体を音楽(   |
| 版<br>(ウンタビリティ)<br>0のケア   | (会議を開発を開発)に対対し、   |
| 所<br>(でンタビリティ)<br>0のケア   | 教育事務限への第一個、連絡、説明  |
| 新<br>数<br>つンタビリティ)<br>5のケア   | 建梯間当者を事務策に常駐させる   |
| 所<br>版<br>ウンタビリティ)<br>5のケア   | 現場の状況を存織(回郷の古書)   |
| 版<br>(ウンタビリティ)<br>0のケア   | 政治の女式を手握「施賀への妻者女法、人居はいないか)<br>国籍のはおよき国(44年間の人の妻母女法・仏皇はお)  |
| 新 生性の投送を重信事間書号・単程等特別   | 発表の大式が手腕(どの手式の研究から表中状況)<br>出職の表出が動題(有物物を(も被制する)   |
| 素<br>原<br>ウンタビリティ)<br>5のケア   | は本の人口を申載(単四年を・単編等を他の下線)   |
| (株式の製作、株状の制能<br>(保護者に温暖/体がない)<br>(保護者に温暖/体がない)<br>(は また)<br>(マスコミ対策<br>(マスコミ対策<br>(ロケア)<br>(大力・セー)<br>(大力・セー)<br>(大力・セー)<br>(大力・セー)                          |   |
|  | 提集の観行、体校の判断   |
| (ウンタビリティ) マスコミ対策 保護者金の間 (保護者金の間) のウントフーの (おりょう) (おりょう)   | 深国者に国際(米国者の当路先名等)<br>深国者に国際おゲオかない場合の文内<br>全家の書きを書図  |
| カウンセラーの おりつせつ おります おります  | マスコの文献の言葉(神奈の写画)  |
|  | イントナーの問題を対しています。  |

# 学校における危機管理のマネジメント・サイクル(PDCA)と行政評価 (2)《テロ・掲破予告の危機》

| 1 100 100                            | _  |  |
|--------------------------------------|--|--|
| 生内容 単所 電道<br>内容 環境予合電道<br>応内容 電源予合電道 |  |  |
| 応内容 管察に通信<br>総要 いたずら<br>全点等 信音等の装置設置 |  |  |
|                                      |  | 金術管理すべき事項(小項目)   |
| 1 保険十口                               | 金機管理すべき事項(中項目)<br>電影予告   | 受害人マニュアルの作成<br>労働電腦の部号を表示する投資  |
|                                      |  | 量素とマニッアルの作成<br>豊富電路の選手を表示する設備<br>最全角度の設置<br>運転開催   |
|                                      | 不審物の発見   | 11日本日<br>の見きからの運用方法<br>見きの条件<br>運用機構<br>11日本日<br>新春秋日の事用のかが人)<br>衛春秋日の事用の数の  |
|                                      |  | 数様の保存<br>運動数率  |
|                                      | 84   | 110号連載   映画状況の車側()すが人)   |
|                                      |  |  |
|                                      | 展集対策本部の設置  | 11日委員権<br>予算表現司庁(依据長護管理者)への第一程、道路、開発<br>予算表表司庁(封接測監督施設者)への第一届、通路、監督  |
|                                      |  | 用数数有等級的への連絡<br>工事系数を(後継系数等機能)に接触しながら指示を同ぐ(マスコミ対策を支配に)  |
|                                      | 施製改修中の物質   | 国際教育を利用への機能<br>主義を表示(企業人を重要が同じ、対象を持ちたい。<br>教育の主義が表示した。<br>では、「プレイプログラー<br>である。「プレイプログラー<br>である。「「では、これでは、「では、これでは、「では、これでは、「では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ   |
|                                      | 1  | 第100 年<br>第40 日入   |
|                                      | 生徒・職員の心のケア   | カウンセラーの配置 学校長の協力   |
|                                      | 取明責任(アカウンタビリティ)  | 復居者会の開催(事実の説明)<br>マスコミ計策   |
| 1085-100-100                         |  | 素質を有すべき事項(の事情)   |
| 2 世界水への毒物温入                          | 金機管理すべき事項(中項目)<br>日本の管理  | 受水理量の連載<br>受水理制度への進入的止   |
|                                      |  | 東京大田県の高屋<br>東京大田県内への高人県企<br>水東地景の東海(日常)  |
|                                      |  | の実施を受験。日本<br>の実施をの表示であり、   |
|                                      | 春物県入   | 受水産等の清海<br>経済が2の実施(病人)   |
|                                      |  | 110 7 1  |
|                                      | 要急対策本部の設置  | 11分割通過<br>11の計画型<br>千里を有行。他教育問題第二への第一世、連絡、教明<br>千里を有行。任政等を情報を指す。)への第一世、連絡、教明<br>教育を表示への連絡  |
| ]                                    | 主義・現長の心のケア   | 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1   |
| 3 亚氨基酚性毒物の配布                         | 説明度性(アカウンタビリティ)<br>自物数を  | (通過中日に同じ)<br>接着状況の原理(機人)<br>111年<br>111日 直接  |
| Y43                                  |  | 110 7  |
|                                      | 関金対策本部の設置  | 十三年を育丁(祖祖自語を祖王)への第一年、遺物、総計   |
|                                      | 生後・理員の心のケア<br>提明責任(アカウンタビリティ)  | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)  |
| 4 テロリスト使入                            | 連輯手段の確保  | 110年出版   |
|                                      | 祖難携導   | 生物の自然性等  |
|                                      | 異意対策本部の設置  | ・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・   |
|                                      | 生物・取員の心のケア<br>説明責任(アカウンタビリティ)  | (機能を口に向に)<br>・ (機能を口に向に)   |
| 5 穀類者の侵入                             | 通報手段の推奨  |  |
|                                      | 2114   | (アロリスト書入に間に)<br>(アロリスト書入に間に)   |
|                                      | 避難競響<br>股幣者の隔離   | 職員の協力体制<br>さずまた事効者提査具の所置   |
|                                      | 避難競響<br>股幣者の隔離   | 重員の協力体制<br>さずまに事務事員委員の刑量<br>(テロリスト借入に同じ)<br>(理場テロに同じ)  |
|                                      | 避難機<br>設備者の機能<br>発生が資本部の設置<br>支性・数長の心のマア<br>技術要件(アカウンタビリティ)  | 職員の協力体制<br>さずまた事効権限者長の刑権<br>(子ロリスト最大に関心)   |
| <b>正主公成</b> 题に対応できるように、中央日本          | 温度機構<br>設備者の開催<br>発生を表示の設置<br>文学・観見のものマア<br>説明異性(アカウンタビリティ)<br>・企業団をまため、金濃管理の提供をチェックする   | 職員の党力体制<br>さず歌た事務権限領人の刑事<br>(テロスト最人に同じ)<br>領域テロに同じ)<br>(機械テロに同じ)   |
|                                      | 担当院委<br>服物者の開催<br>形力資本部の設置<br>支生・総長のものマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>の適用を定との、免債管理の係款をデェッフする  | 職員の協力が明<br>さずまた事効を用選其の刑業<br>(プロリスト者人に同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)  |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 避難機<br>設備者の開題<br>製造計算本層の設置<br>生性・態度の心のマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>の項目をまため、急遽管理の規状をデェックする<br>中項目   | 関係の協力体制<br>さずまた事効を見る人の問題<br>(プロリスト者人に同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>(選集プロに同じ)<br>・ 選集<br>・ できる人・ (ログを)<br>・ できるん・ (ログを)<br>・ (ログを   |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 避難機<br>設備者の開題<br>製造計算本層の設置<br>生性・態度の心のマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>の項目をまため、急遽管理の規状をデェックする<br>中項目   | 関係の協力は無<br>かすまた事効を見る人の用意<br>(テロリストラ人に同じ)<br>(開発・ロに同じ)<br>(開発・ロに同じ)<br>(開発・ロに同じ)<br>(開発・ロに同じ)<br>(開発・ロに同じ)<br>(開発・ロに同じ)<br>(表現 日本のとの表現 (取得の表現はないか、表現を目的されているかなど)<br>来来の大の主なまま (可能のような形式を対し、表現を目的を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を  |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 避難機<br>設備者の開題<br>製造計算本層の設置<br>生性・態度の心のマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>の項目をまため、急遽管理の規状をデェックする<br>中項目   | 国内の協力は無<br>さずまた事効を見る人の問題<br>(テロリストラ人に同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本項目<br>(国現テロに同じ)<br>(本の定金)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(本の定金)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国現テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用テロに同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・同じ)<br>(国用・ |
| <b>正宝公庆最</b> に対応できるように、中央日本          | 選別競響 股衛者の開想  医生物をの関  医生物を表ののです。  「大学・観見のものです。  「大学・観見のものです。  「大学・観見を含むめ、金銭管理の提供をチェンフする  中項目  予助策  マニュアル  | 関係の協力は無<br>かすまた事効を見過れの用意<br>(テロリスト最大に同じ)<br>(機能を口に同じ)<br>(機能を口に同じ)<br>(機能を口に同じ)<br>(機能を口に同じ)<br>をおおよりなりますも(他門の放射はないか、最近さ算定されているかなど)<br>東本の大会な書(行行カンラを)・チャイム関係など)<br>東本の大会な書(行行カンラを)・チャイム関係など)<br>東本の大会な書(行行カンラを)・チャイム関係など)<br>東本の大会な書(行行カンラを)・ディーム関係など)<br>東本の大会な書(行行カンラを)・ディーム関係など)<br>東本の大会な書(行行カンラを)・ディーム関係など)<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な音(大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形)・<br>東本の大会な形  |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 担当教養 旧物者の開催 医治すの開催 医治する開催 生生・取員のものケア 技術責任(アカウンタビリティ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 関係の能力体制<br>かすまた事効を見るの用意<br>(テロスト者人に同じ)<br>(国場テロに同じ)<br>(国場テロに同じ)<br>(国場テロに同じ)<br>(国場テロに同じ)<br>・  |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 担当教養 配着者の開催 医治すの開催 医治する開催 生生・世界の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ) ・小楽田をまため、急遽管理の現状をデェックする ・小楽田 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 職員の協力体制<br>かすまた事効を見過れの用意<br>(テロリストを入に同じ)<br>(環境テロに同じ)<br>(環境テロに同じ)<br>(環境テロに同じ)<br>(環境テロに同じ)<br>・ (環境テロに同じ)<br>・ (環境テロに同じ)<br>・ (環境テロに同じ)<br>・ (環境テル大のでは、アインを表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を   |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 担当教養 配着者の開催 医治すの開催 医治する開催 生生・世界の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ) ・小楽田をまため、急遽管理の現状をデェックする ・小楽田 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 関係の能力体制<br>さずまた事効を見過れの問題<br>(ナロリストを入に同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(単立は入りにもまでする)(表門の表現など)<br>未生の完全表面((表記カンを)を、チャイム関盤など)<br>未生の完全表面((表記カンを)を、チャイム関盤など)<br>まままが渡っ入状計ら其の影響<br>環境を対象がある。<br>(本記の音句とではたいる場合(不要者者見の情報表表など)<br>技術内外の通過機<br>マニュアル整理<br>(関係を要素をよるを提供所の必要<br>・ 本記を表現の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表   |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 担当教養 配着者の開催 医治すの開催 医治する開催 生生・世界の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ) ・小楽田をまため、急遽管理の現状をデェックする ・小楽田 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 関係の能力が終<br>さずまた事効を見る人に同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(関係すりに同じ)<br>(対象を主人というできますが、まません。<br>本を主人につきますが、「大きの表のをは、<br>本を主人につきますが、「大きの表の表し、<br>では、「大きの表の表し、「できます」<br>(大きの表の表し、「できます」ともでは、「大きの表し、「大きを対し、「大きを対し、「大きを対し、「大きの表し、「大き  |
| <b>正主公成</b> 题に対応できるように、中央日本          | 担当教養 配着者の開催 医治すの開催 医治する開催 生生・世界の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ) ・小楽田をまため、急遽管理の現状をデェックする ・小楽田 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 関係の協力体制<br>かすまた事効を見られた同じ)<br>(環境・アロに同じ)<br>(環境・アロに同じ)<br>(環境・アロに同じ)<br>(環境・アロに同じ)<br>・ (環境・アロに同じ)<br>・ (環境・アロに同じ)<br>・ (環境・アロに同じ)<br>・ (環境・アロに同じ)<br>・ (東京の大学のでは、アロを関係である。)<br>・ (東京の大学のでは、アロを関係である。)<br>・ (東京の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を   |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 担当教養 旧名の問題  医治すの問題  医治すの問題 生生・世長の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ)  ・小楽田をまため、急遽管理の規状をデェックする  ・小楽田 ・一・中楽田 ・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 報告の他の体制<br>・   |
| <b>正主公成</b> 题に対応できるように、中央日本          | 担当教養 旧名の問題  医治すの問題  医治すの問題 生生・世長の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ)  ・小楽田をまため、急遽管理の規状をデェックする  ・小楽田 予防策  マニュアル 助理 売者発生の連絡、根帯対応  | 関係の強力を終<br>さずまた事効を見られて同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(通過・フロに同じ)<br>(本面は、コロトラ・エ・も 海(の) 表現など)<br>未生の水の変を割削がある。大きでは、チャイム関係など)<br>未生の水の変を表する協力<br>(本面は可能のを対象を表する協力<br>(表面は、の意の・などとの通信(不要を介見の理相提供など)<br>(表面の水の変を表する協力<br>(表面の水の変を表する協力<br>(本面の水の変を表する協力<br>(本面の水の変を表する協力<br>(本面の水の変を表する協力<br>(本面の水の変を表する協力<br>(本面の水の変を表するとなる<br>(本面の水の変を表するとなる<br>(本面の水の変を表するとなる<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表する。<br>(本面の水の変を表 まる。<br>(本面の水の変を表 まる。<br>(本面の水の水の水の変を表 まる。<br>(本面の水の変を表 まる。<br>(本面の水の変を表 まる。<br>(本面の水の水の変を表 まる。<br>(本面の水の水の水の変を表 まる。<br>(本面の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水   |
| <b>正主公成</b> 题に対応できるように、中央日本          | 担当教養 旧名の問題  医治すの問題  医治すの問題 生生・世長の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ)  ・小楽田をまため、急遽管理の規状をデェックする  ・小楽田 予防策  マニュアル 助理 売者発生の連絡、根帯対応  | 国内の政力は無い。<br>でアリストを入れて同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を口に同じ)<br>(国現を日本のの事情(役所の政策はないか、要求け事実を水でいるかなど)<br>未生の大い口を見まっても国内の国際など)<br>未生の大い口を見まっても国内の国際など)<br>ま生の大い口を見まっても国内の国際を対し、<br>で見まる情報をしたる。<br>で見まっている。<br>(日本の主義との表表でも関係のため国際<br>では、日本のようなでは、大いの事情(不可言者是の理解談表など)<br>(本のなるまでは、日本のような、(本のなる)、(本のなる)、(なのなると)<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義といる。<br>(日本の主義と   |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 担当教養 旧名の問題  医治すの問題  医治すの問題 生生・世長の心のマア 技術要性(アカウンタビリティ)  ・小楽田をまため、急遽管理の規状をデェックする  ・小楽田 予防策  マニュアル 助理 売者発生の連絡、根帯対応  | 国内の協力体制  |
| <b>正宝公庆最</b> に対応できるように、中央日本          | 避難機<br>服物者の隔離<br>医的計算本部の設置<br>生物・能員をいのウァア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・中楽園<br>予助性<br>マニュアル<br>助機<br>売間素性の連絡、根帯対応<br>連個連絡性の連絡、根帯対応  | 国内の協力体制  |
| <b>正宝公庆最</b> に対応できるように、中央日本          | 避難機<br>服物者の隔離<br>医力質本部の回答<br>生物・能見の心のマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・中項目<br>予助性<br>・中項目<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 国民の協力体制  |
| 大學自                                  | 避難機<br>服物者の隔離<br>医力質本部の回答<br>生物・取員の心のマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小瀬田をまため、急機管理の模状まデェッフする<br>中瀬田<br>予防性<br>マニュアル<br>助性<br>売価条性の連絡、根帯対応<br>通信連絡体験の理像<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | 国民の政力を制定していません。  「中国により、 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「は親子のに関し」 「はまりまする」は一つの民族とど) 東本が大りにも思っても、「は一の民族とど) 東本が大りにも思っても、「は一の民族とど) 東本の大きな事態(所たかよりを変、チャイム関連など) 東本の大きな事態(表しまりを変)、チャイム関連など) 東本の大きな事態のの意思 「はまりの意見」による手機内外の監督 「中国にの意見」による手機内外の監督 「中国にの意見」による手機内外の監督 「中国にの意見」による手機内外の監督 「中国にの意見」による手機内外の監督 「中国にの意見」による手機内外の監督 「中国にの意見」による手機内外の監督 「中国にの意思」による手機の外の監督 「中国にの意思」による手機の外の監督 「中国にの意思」による手機の外の関係。 「中国に、「中国に、「中国に、「中国に、「中国に、「中国に、「中国に、「中国に、  |
| <b>正宝公庆</b> 最后到底飞速&よ为后。中国日本          | 選問機構 服務者の隔離 医教育選本部の図書 生芸・塩長のものウア 技術要性(アカウンサビリティ) ・ 楽田をまとめ、急機管理の級状まチェンフする ・ 中項目 ・ 予防策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・   | 世界の能力体制<br>かすまた事効を見通人の問題<br>(テロリストを人に同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(表面の無力を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現を表現である。)。<br>(本面の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 世界の能力体制<br>かすまた事効を見通人の問題<br>(テロリストを人に同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(通過テロに同じ)<br>(表面の無力を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面のの通過を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意のの表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現である。)。<br>(本面にいる主意の表現を表現を表現である。)。<br>(本面の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表  |
| 大學自                                  | 選問機構 服務者の隔離 医教育選本部の図書 生芸・塩長のものウア 技術要性(アカウンサビリティ) ・ 楽田をまとめ、急機管理の級状まチェンフする ・ 中項目 ・ 予防策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・   | 世界の取りを明  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 世界の取りが終  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 世界の取りが終  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 日本の主要が提出を表示のできません。   |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 国民の協力体制  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 国民の協力体制  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   | 国民の協力体制  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>配動者の隔離<br>医生物のののマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・小楽田をまため、急激管理の規状まデェックする<br>中項用<br>予防策<br>マニュアル<br>助線<br>危機発症の連絡、根毒対応<br>連絡発症の連絡、根毒対応<br>高極発生収基の表効体制<br>不動者の身接機体<br>軟態   |  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>医動力資本部の設置<br>生態・電長のものマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>中項目<br>予防策<br>・ 中項目<br>・ 予防策<br>・ 市面を在の連絡、根準対応<br>・ 市面を在の連絡、根準対応<br>・ 市面を全の連絡、根準対応<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面を必要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を  | 表示的に対対的に対対の対象を対していません。  「中国リスト教人とは同じ」 「機能学のに同じ」 「機能学のに同じ」 「機能学のに同じ」 「表示は入りに対象でする「展内の数単はないか」を改せまだされているかなど) ・ まったが、  |
| 大學自                                  | 選問機構<br>医動力資本部の設置<br>生態・電長のものマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>中項目<br>予防策<br>・ 中項目<br>・ 予防策<br>・ 市面を在の連絡、根準対応<br>・ 市面を在の連絡、根準対応<br>・ 市面を全の連絡、根準対応<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面をの身続機能<br>・ 市面を必要を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を  | 表示的に対対的に対対の対象を対していません。  「中国リスト教人とは同じ」 「機能学のに同じ」 「機能学のに同じ」 「機能学のに同じ」 「表示は入りに対象でする「展内の数単はないか」を改せまだされているかなど) ・ まったが、  |
| 大學自                                  | 避難の 日本   | 要素の変わけます。 「中国と対策を持ちました。」 「中国とは、中国との第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の   |
| 大學自                                  | 選問 表   | 要素の変わけます。 (アロスト世人に同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (単域すのに同じ) (単域するに対しておってもに同りの表現なが、意思な言葉を含むないるかなど) (ままのなどを書)(対したがようの表現・チャイムの最後と) (ままのなどを書)(対したがようの表現・チャイムの最後と) (ままのなどを書)(対したがような表現・チャイムの最後と) (ままのなどの書)を表現を表現を表現 (まれのままの書)(では、またのなど) (まれのままの書)(では、またのなど) (まれのままのままのままのままのままのままのままのままのままのままのままのままのま   |
| 大學自                                  | 選問機構<br>医動音の隔離<br>医動音の原理<br>支管・電長の心のマア<br>技術要性(アカウンタビリティ)<br>・中濃用<br>予助性<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃用<br>・中濃<br>・中濃<br>・中濃<br>・中濃<br>・中濃<br>・中濃<br>・中濃<br>・中濃 | 要点の変わた料<br>「アロノスト間入に同じ)<br>「連集子のに同じ)<br>「連集子のに同じ)<br>・ 本の人と口をでする「最大の変数はないか、重要に表えられているかなど)<br>・ 本の人と口をでする「最大の変数はないか、重要に表えられているかなど)<br>・ 本の人と口をでする「最大の変数はないか、重要に表えられているかなど)<br>・ 本の人と口をでする「最大の変数は、「不要者を見の性情違数など)<br>・ 本の人のできませるとなる。<br>・ 本の人のできませるとなる。<br>・ 本の人のできませるとなる。<br>・ 本の人と発展を<br>・ は、人のと発展を<br>・ は、人のと表現を<br>・ は、人のと表現を<br>・ は、人のと表現を<br>・ は、ののため、<br>・ は、しのなため、<br>・ は、しい。<br>・ は、この。<br>・ な、この。<br>・ は、この。<br>・ な、この。<br>・ な、この。<br>・ な、この。<br>・ な、この。<br>・ な、この。<br>・ な の。<br>・ な の と、<br>・ な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な の と な を と な と な と な と な と な と な と な と な と   |
| 大學自                                  | 選問 表   | 要素の変わけます。 (アロスト世人に同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (連載すつに同じ) (単域すのに同じ) (単域するに対しておってもに同りの表現なが、意思な言葉を含むないるかなど) (ままのなどを書)(対したがようの表現・チャイムの最後と) (ままのなどを書)(対したがようの表現・チャイムの最後と) (ままのなどを書)(対したがような表現・チャイムの最後と) (ままのなどの書)を表現を表現を表現 (まれのままの書)(では、またのなど) (まれのままの書)(では、またのなど) (まれのままのままのままのままのままのままのままのままのままのままのままのままのま   |

| *0   |        | (0) 42 10 40 70                       |
|------|--------|---------------------------------------|
| 1    | LVD.   | Trade                                 |
| 教生内部 | 88     | THE                                   |
|      | 内容     | 住職が事務にあった。(ひき達げ)                      |
| 対応内容 |        | 『すぐ経経に管理をつなぐ、祖母は生徒の撤退、事務度は病院などの連絡を行う。 |
| 超馬   |        | 性機は線性で済んだが、知人は見つからず。                  |
| 医室直管 | 7.53.5 |                                       |
|      |        | Δ.                                    |

| # N             | を機管理すべき事業(中級目)<br>運送の交易・通学路の検討・指導・開始の数率 | 危機管理すべき事業(小規則)   |
|-----------------|---|--|
| 生性が事故にあった(ひき造げ) | 原因の交換・適学路の検討・指導・開始の徹底                   | 用事をの事情間か-砂果<br>担内関係をの会議<br>開始機能<br>上の発表し<br>上の記念(表現)<br>展集を表現の課金(に表現 |
|                 |   | <b>投内関係者の金譜</b>  |
|                 |   | 3935   |
|                 |   | ATROXE.  |
|                 |   | <b>製造機関(事業等)に登録</b>  |
|                 |   |  |
|                 |   | ARRE   |
|                 | 通信連絡体制(学校報)                             | ※原理表子在的も単位・発信できる電話機の設備   |
|                 |   | 事務開発不在特開発室等で完成できる切り替え設置  |
|                 |   | <b>用表名第-主任名用改進</b>   |
|                 |   | HORMANS-KUE  |
|                 |   | 理典の景を電影を立って  |
|                 |   | 工程子及文明設置<br>表数委への連絡・直接指令   |
|                 | 温度温度中积(生性积)                             | の日本名が表現の事務を含む TETA   |
|                 | THE RESERVE OF THE PARTY.               | 生物を表に担任の電影を示を影響  |
|                 | 温温な影像の単端                                | BARRAN   |
|                 | 位名な出来の事業                                | 発表の性干燥   |
|                 |   | 最終の他間  |
|                 |   | <b>教育業長・テレホンカード・小規約者</b>   |
|                 |   | <b>华秋等有集の後以</b>  |
|                 | 1                                       | <b>医克里尔氏小维拉</b>  |
|                 | WW - W.C.                               | 重要への連絡の機器<br>量下松時の危機管理所名マニュアル作成                                      |
|                 | マニュアル<br>別様                             | <b>商品・中央の開発</b>  |
|                 | 国際業在(アカウンタビリティ)                         | ZANIME   |

| ENT-LEGS B H              | 会議管理すべき基理(中項目)                 | 金橋管理すべき事項(小項目)                          |
|---------------------------|--------------------------------|---|
| 要体集中の部屋動員了後下吸途中の生気が倒れた    | 部活動の指導体制                       | 生物の健康状態の把握                              |
| 都活動中にも最後無中値で使れていた)        |                                | 無理のない意動計画の作成                            |
|                           | - [                            | E348                                    |
|                           |                                | 888018                                  |
|                           | 原因の実現・選学路の検討・程導・選出の構造          | (ひきみげ)(見じ)                              |
|                           | <b>通信道格林到(甲银幣)</b>             | (なを進げに同じ)                               |
|                           | 連生連絡体制(生態度)<br>必要は領域の業務        | (のき通げに見じ)<br>(のき通げに同じ)                  |
|                           | が能力強調の業器                       | ADDRESS OF THE STREET                   |
|                           | 1 .                            | 生意可有集の連盟<br>食息享予を必要品                    |
|                           | マニムアル                          | <b>業下省時の危機管理対応マニュアル作成</b>               |
|                           |                                | 株は数字の意味を展すニュアル作成                        |
|                           | DIM .                          | (ひき進げに同じ)                               |
|                           | 観察責任(アカウンラビリティ)                | <b>景理者会の開催(非実技能)</b>                    |
|                           |                                | マスコを対応                                  |
| 展回に主情が使れた(インシュリンをうっている生物) | 国際の交換・選手機の検討・数乗・選出の機能          | (の意識がに同じ)                               |
|                           | 基金建物体制(学校组)                    |   |
|                           | ****                           | 主角媒の意味者中の活知                             |
|                           | 基準運輸件制(生物盤)                    | (のを達げに同じ)<br>・ 主張の管理者号の運動               |
|                           | 正正な関係の事情                       | (自当教的教育のたち用な)                           |
|                           | 際体験関係との連携                      | 大き馬への連絡                                 |
|                           | 生物の影響                          | <b>発展を持っている生態の問題</b>                    |
|                           | 7=17A                          |   |
|                           | マニュアル                          | (ひき選げに居に)                               |
|                           | 数明責任(アカウンタビリティ)<br>単級の実施・指導の復居 | 「ひき達げに共亡」                               |
| 徒が小学生を叩いたと聞から苦情電話         | 原因の食物・推導の復用                    | . 共享性の基準制度・指揮                           |
|                           |                                | <b>型内製造者の会議</b>                         |
|                           |                                | 第五六月10<br>1日への日見                        |
|                           | 1 .                            | 2722                                    |
|                           | <b>基准基金分別 甲烷烷</b>              | (ひき進行に同じ)                               |
|                           | 出席な標準の事業                       | (D#AITERS)                              |
|                           |                                | 性を事業的の理論                                |
|                           | 関係機能等との譲渡                      | 被害児童への謝罪(生徒・保護者)の確認                     |
|                           |                                | 当届小学校への連絡                               |
|                           | マニュアル                          | (ひき進げに異じ)                               |
| 他の程準の選挙                   | 原因の文学・指導の発展                    | (の単生を明いた要性と同じ)                          |
|                           | <b>通信基础等的(单位数)</b>             | (日本連げに同じ)                               |
|                           | 迅速な根等の幸養                       | 理会人の有限-病院最近の必要性推進                       |
|                           | 関係機能等との機器                      | <b>高級小の首席</b><br>通路小の首席 - 日代教育のの表示が存在する |
|                           | The second second              | 様子が物段生物の様合当路校との連絡                       |
|                           | マニュアル                          | (D#AIFERG)                              |
| 賞者(自覚問題)が出現したと集を電話から連絡    | 運送の大学・選学路の検討・音楽・開始の音楽          | (ひき逃げに同じ)                               |
|                           | 下板的架等の指導                       | ア連合性の理念                                 |
|                           |                                | 機能での下板のすすめ                              |
|                           |                                | <b>東モブザー機中のすすめ</b>                      |
|                           | 通信道理學制(學校報)                    | (Dを進げに飛じ)                               |
|                           | 通信道明体制(性情報)                    | 110番湯糖の養産                               |
|                           |                                | 海珠テンパー物を記憶<br>企成士島に学校の管理番号を開加           |
|                           | <b>建建位服务的原理</b>                | (生物の物を重視と同じ)                            |
|                           | 原体を表示される                       | Barby-o-res                             |
|                           | THE REAL PROPERTY.             | 河町可への協力機関(外収・定て着機等)                     |
|                           |                                | 近隣住民への協力性難(豪勢受入)                        |
|                           | 2860677                        | 生命の精神関等のケア                              |
|                           | 71276                          | (Dを進げに無応)                               |
|                           | 2 M                            | ((ひき逃げに飛亡)                              |
| ENFORCETIVE CAN           | マルスアル<br>動機<br>「食養を自身に用こ」      |   |

| 京な集機に対応できるように、中国自との項目を求され、危機 | PLAN   |  |
|------------------------------|--|--|
| 大場面                          | +88  | <b>740</b>   |
| 248                          | 789  | 境内製造者の会議   |
|                              | (展別の実現、連学等の機計・指導・用知機能)   | 2425   |
|                              |  | 走政策所の明確  |
|                              |  | 当事者の事性関策・指導  |
|                              |  | 通常権の決定、見変し<br>連中指導   |
|                              |  | 了技術別の推進  |
|                              |  | 祖教での下板のすずめ   |
|                              | 144  | 放取プザー機様のすすれ  |
|                              |  | 国政・主使・保護者に展開<br>関係に基準数の開始、/サロールなどの協力協議   |
|                              |  | 市町村への協力機関(外近・全工管板等)  |
|                              |  | 近隣信度への協力信服(管験を入)   |
|                              | 75a7#  | <b>全下技術の出租管理対応マニュアル要素</b>  |
|                              | NH .   | 製造数中の出機管理マニンアル要像<br>環境-生徒の訓練   |
|                              | 1 NOW READER   | <b>発売を持っている主要の影響</b>   |
|                              | <b>州送教の保御体制</b>  | 生物の健康状態の認識   |
|                              |  | <b>発見のない性事計画の含成</b>  |
|                              | 1  | 成当日<br>自由第四年記  |
|                              | 通信通用体制(学校制)の確保   | <b>通用数点不在所も発達・発展できる整路機の設置</b>  |
|                              |  | 事務職員不在前機員全等で受性できる効1登入設置  |
|                              |  | 超点长速-生块长速投资  |
|                              | 193  | 型は機能強化を一覧型型<br>構造の機能を開発を中の一覧   |
|                              |  | 10731100   |
|                              |  | 生物の生物医の管理療を設備  |
|                              | 通信連絡体制(生物質)の確長   | 生成主義に中核の理論を4を開始<br>生物主義に設性の理論を4を開始   |
|                              |  | 1010年 - 日本の - 日本 |
| 豊下被時の危機                      | 1 1  |  |
|                              |  | 110等連続の機能<br>不要非見のサンバー等を記憶   |
|                              | 迅速な収集の単価   | 地名が選手所<br>地名の中の地   |
|                              |  | RECOR  |
|                              |  | <b>共産党はインホンカード・の状態</b> 章   |
|                              | 1  | 性を受するの理論   |
|                              |  | 表生学形の推選<br>要報への連携の確認   |
|                              | 製造対策水器の設置  | 最近の事態を主張に置いた温暖な知識を(登録者・発息単系との選挙・展導体制。  |
|                              | жаншэвони  | 千葉県南州庁(衛翔美御管理堂)への第一番、連絡、監明   |
|                              |  | 子童商務支庁(前期長貨管理室)に接護しながら後年を得ぐ(マスコミ対策を意識に   |
|                              |  | <b>教育事務所への第一報、連絡、説明</b>  |
|                              |  | 通過性の関係を発展に関係させる  |
|                              |  | 護嫌の状況を草理(図器の実施)  |
|                              |  | 講場の供給を掌握(生物への被害状況)   |
|                              |  | 直接の保設企業機(対応機能の性意味の世間状況)  |
|                              | 1  | 連場の状況を掌握(連盟設備への被害状況)   |
|                              | WANT PROPERTY.   | 機場の求記を草屋(卓両登号・車種等特殊の影響)  |
|                              | 事後対応・侵集機行の判断   | 生産の資金の確認<br>授業の終行、体験の判断  |
|                              | 事後対応:生徒の下校手段   | 母祖書に直称(長田書の道明大長藩)  |
|                              | SEAS SERVICETE   | 保護者に連絡が対かない場合の対応<br>全員の侵化を確認   |
|                              | and the same of th | 全員の報告主義は   |
|                              | 事後対応:世後のケア   | 生産の開港開等のケア   |
|                              | 1 100 1 100  | 生活医への循路<br>学術医の協力  |
|                              | 事後対応: 説明意任(アカウンタビリティ)  | 母雄世史の間根(華美談明)  |
|                              |  | マスコミ対策   |

### 学校における危機管理のマネジメント・サイクル (PDCA) と行政評価 (4) ≪精神障害者の侵入の危機≫

東州 発生内容 場所 第日・日本内 内型 銀州県豊富の長人 対正内容 総数 よ名義等

| # M                | 金種整理すべき事項(申項目)   | 危機管理すべき事項(の項目)  |
|--------------------|------------------|---|
| 1 機関障害者の侵入         | 使入策性の運動          | 対処理員が他の課題に連続(可能が関リ接触対応)<br>生態に接触している時度理点が意見又は他の生態が開発に連絡<br>性限制に連絡<br>開発が発表を取り続け   |
|                    |                  | 議員に登集<br>金税に変数を運(他運力場の運業)<br>金数表に変数<br>(数数数に関数(110巻、111巻連載)   |
|                    | 機場の事業            | 連続性性を予察をは可能をせる<br>使きるが原始を対する機能の確認(指摘がかるところに原像)<br>組合が指表を指数を表現   |
|                    | 龙珊菊北口在助外部        | 生物等の生物の事態<br>開発の医療が動物<br>生物・運動・資本(開発機能)   |
|                    | 必要に応じ緊急対策本部の設置   | 連絡室口の一本を1個条件の表定!<br>・ 日本発表する「原理具面性理解」への第一種連絡。<br>・ 日本発表する「原理具面性理解」に対応しながら指示を扱いてスニュ対策を未知に)   |
|                    |                  | 製造との連絡・日巻<br>実際との連絡・日巻<br>マスコとの連絡・観響<br>他程度を(内閣・場所・先生師の形成)<br>情報を(内閣よりの連絡によれたか)   |
|                    | 生徒の要核・毎年の安全確保    | 原理を介める日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日  |
|                    | 国研責任(アカウンタビリティ)  | 高限者会の関係(事実の影響)<br>マスコミド等  |
| 3 開発酵素者による数量が開     | <b>東急対戦水等の設置</b> | 連接室口の一手を(連携者の決定)<br>十里県を東庁(原理具施で選定)への第一種連接接際<br>千里県を東庁(原理具施管理室)に建設しながら日かを持て(マスルは対策主意際に)<br>原理との選集・担応  |
|                    |                  | 登録との連携・調整<br>マスコンの選集・課券<br>使用登場(特別・展所・単位権の状況)<br>使用登場(人変はいないか)  |
|                    |                  | 学院を関係を入せいないかで・119事選権以下)<br>学校を選(文書のどの意識)<br>学校を選(成集をよの当業はよれたか)  |
| 2 精神障害者による放火       | 京本選絡 および物        | 型生物度で生態・販貨を開発させる(原理的際域で)<br>11を終し、11の単連<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・  |
| 4. 精神管理をによる器物構成・活動 | <b>東京の事情</b>     | <b>素素√03%</b>   |
| - 一日の大田田により田田田田・田田 | W-00-0-0         | 要素が必要素がある。<br>対対する。<br>対対する。<br>対対する。<br>対対する。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>ので。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>ので。<br>。<br>のできる。<br>のできる。<br>のできる。<br>のでを。<br>。<br>のでを。<br>ので。<br>のでを。<br>のでを。<br>のでを。<br>。<br>のでを。<br>のでを。<br>。<br>ので。<br>ので。<br>。<br>ので。<br>。<br>ので。<br>。<br>ので。<br>。<br>。<br>ので。 |

学校における危機管理のマネジメント・サイクル(PDCA)と行政評価
<精神障害者からの苦情≫</li>

| **   |           | ~ 4H 19 M                                  |
|------|-----------|--|
| 7    | Dia.      | 干全日  |
| 免生内容 | 57        | 京口・管証長者                                    |
| 2.2. | 内容        | 維持業者をと思われる人の管理                             |
| 対応内容 | 112       | すぐ表面につなぎ、表面が対応、発音が交代で見回り及びを表が複数を開発回り、ゴミをい。 |
| 44.5 | 13/2/2010 | 学校县至少额顶胜一不成文                               |
| ES49 |           |  |

| -    |               | 企業管理すべき事項(中項目)          | 売機管理すべき単項(小項目)   |
|------|---------------|-------------------------|--|
| 1 88 | 神障審者と思われる人の意情 | 室口の一本生                  | 別を表するのでは<br>を表するがは(別の(事件)<br>大名乗品を選択<br>大名乗品を選択<br>大名乗品を選択<br>大名乗の作品を選集(表面の集件)         |
|      |               | <b>担を際く場所の数章(第日の場合)</b> | 電影内型の機能・開発の場合)<br>電点機能が出の機能・開発・展開がタン・ドア教で制度等)  |
| 1    |               |                         | 企業において変えるでは<br>銀子の持ち物の選択(16年 工事物の原料はGA(か)<br>企業にでは食る場合の展集(デューの見みかの数集も)                 |
| 1    |               | 根準の推盟                   | 表達の確認及((子の影響(写真等)<br>管理内容に応ごた改善及((子真等)   |
|      |               | 生物の指揮·動物                | 並の情報をの金額関係<br>生物・発展<br>生物・発展<br>生物・利用<br>生物・利用<br>対象・記載<br>見取りも参加数数(対応の仕方の注意点の共通等解を集る) |
| 4    |               | トラフル発生時の対応              | 110年2年<br>本集におど119年日本  |
| 1    |               | T=47&                   | 質性の危機管理別応マニュアル作成   |
| 1    |               | DIM                     | 対応報義で呼の影響<br>職員がけの影響   |
| -1   |               | 調研養在                    | 生産への発展<br>保護者への投稿・能力   |

| 大道音            | +81  | PLAN CAR  |
|----------------|--|---|
|                | T=174  | <b>表情の先後を見足をリニュアルを達</b>   |
|                | Dia  | 対応数長の制度<br>その改進点の影響   |
|                | 800-sc   | <b>州区市位于中央</b>  |
|                |  | 推薦での対応(他口の場合)   |
|                |  | 州広東共共産業   |
|                | 1  | ま性/での作成表が回答(単語の集合)  |
|                | 四を異く場所の根没(家口の場合)<br>の 苦情<br>現場の確認  | 電視内容の推動(電影の場合)<br>発表選挙方法の開発(電話、非常ポラン・ドア朝で見た場)   |
|                |  | 理手の持ち他の機能(対象、子書物の手持事)   |
| 精神障害者と思われる人の苦情 |  | あまに成じませた機の用意(グリーのぞう/うの設置も)  |
| 保証性単名でかられるどの意識 |  | 関係の選択を100の日本(大工事)   |
|                |  | 西境内市に成じた前巻及びその記憶(写業学)   |
|                | トラブル発生時の対応   |   |
|                | 1 Permanent in the contract of | DECERTION AND THE PROPERTY OF |
|                | 華後対応・生性の指導・周知  | 校内製造者の金融開催  |
|                |  | 用表-生態-化性電圧開始  |
|                |  | 조무현계  |
|                |  | <b>展展V世後の影響(対応の仕方の主意点の共画程製を図る)</b>  |
|                | 事後別志: 説明責任(アカウンタビリティ)  | 生徒への走運<br>国際最大の影響・協力  |
|                | S.P.   | 1 日本  |

# 4. 学校における危機管理のマネジメント・サイクル(PDCA)と行政評価 (5) ≪校内の急病人・怪我人発生の危機≫

| 20    | L12 | 日中                     | 54                               | 日中                  | 真冬,日中                              |
|-------|-----|------------------------|----------------------------------|---------------------|------------------------------------|
|       | 場所  | 校會                     | 校庭                               | 応接室                 | 校庭                                 |
| ex-ne | 内容  | 生機が4階から落ちた             | 生徒がテニスの朝線中に竹が足にささる(自分<br>以外は未出勤) | 雑員が応接室から体調不<br>員の電話 | 工事の创催が職人が急員(市に使<br>同許可した英書関係監督の復設) |
| 16AB  |     | 事務から救急車依頼評細わか<br>らず苦慮・ | 足と竹をその家家有で解り病院へ                  | 様子を確認 病院へ           | 119要通報                             |
| 解果    |     | 一応済んだ(骨折だった)           | 大量出血は回避                          | 病気により夕方手術           | 死亡、現場検証、検死                         |
| 金倉事   |     | 内容の確認に管理               |                                  |                     | 心肺蘇生                               |

| 事 柄              | 危機管理すべき事項(中項目)  | 危機管理すべき事項(小項目)                          |  |
|------------------|-----------------|---|--|
| 経業中の経費・病気(生物・児童) | 怪像人勢生の連絡        | 近くの職員や生徒が伝達に走る(職員室や保健室や事務室へ)            |  |
|                  | (校内の連絡)         | 内線電話                                    |  |
|                  |                 | 内線電話一覧を掲示                               |  |
|                  |                 | <b>連帯電話</b>                             |  |
|                  | 現場の牧助体制         | 養護機能すたは必要のできる職員を表場に設置<br>授業投当・顧問教員の対応   |  |
| l.               |                 | 授業担当・顧問教員の対応                            |  |
|                  |                 | 近くの教員による応援体制を組む                         |  |
|                  | }               | 二次引掌の恐れがある場合 御練                         |  |
|                  |                 | 極限人生徒の管護                                |  |
|                  | 1               | 他の生徒の体制                                 |  |
|                  |                 | 応急処置のマニュアル                              |  |
|                  |                 | 担望を設置する                                 |  |
|                  | 救急車要請           | 教急車要請マニュアル                              |  |
|                  |                 | 119番通線                                  |  |
|                  |                 | 放息車拼導体制<br>救急車両行体制                      |  |
|                  |                 |   |  |
|                  | 緊急対策本部の設置       | 千葉県教育庁(教職員護管理室)への第一種、連婚、説明              |  |
|                  |                 | 千葉県教育庁(教職員課管理室)に確認しながら指示を仰ぐ(マスコミ対策を金頭に) |  |
|                  |                 | <b>性教人・病人発生現場との連絡・指示</b>                |  |
|                  | 現場の事盤           | 連絡担当者を事務室に常駐させる                         |  |
|                  |                 | 校内配置図で場所の複図                             |  |
|                  |                 | 生徒名簿で受傷生徒を確認                            |  |
|                  |                 | 受傷生機の保護者に進絡                             |  |
|                  |                 | 保護者に開始                                  |  |
|                  |                 | 関係機関(生後入所施設等)に進絡                        |  |
|                  | 技明責任(アカウンタビリティ) | 保護者会の開催(事実の誘明)                          |  |
|                  |                 | マスコモ対策                                  |  |

|                 |                      | AN   |
|-----------------|----------------------|--|
| 大項目             | 中項目                  | <b>小棚</b> 目  |
|                 | 怪殺人・病人発生の道略          | <b>職員-主催の緊急時の連絡体制(どこに何を連絡するか)</b>  |
|                 |                      | 内接電話の一覧  |
|                 |                      | 生後へ学校の電話番号の周知<br>販員の運搬火の一覧   |
|                 | 1                    | 管理数の気急速感光(発帯電路)の把握   |
|                 |                      | 職員の部屋不在時の所在明記(特に保健室)   |
|                 | 理場の教育体制              | 数員の応援体制  |
|                 | SE SE OF SECTION     | 職員・生徒の教皇法の研修   |
|                 |                      | 現場への携帯電話の携行  |
|                 | 7                    | 担保・教命セットの常備  |
|                 |                      | 医療関係機関の一覧(学校医含む)   |
|                 | 1                    | 応急処置のマニュアル   |
|                 |                      | 遊館(爆発の恐れ等)   |
|                 | <b>农急率要請</b>         | 安急車要請マニュアル(要請の判断基準)  |
|                 |                      | 放急車要請マニュアル(要請の方法)<br>改急車誘導体制   |
|                 |                      | 和 2 年 級 母 休 朝<br>教 2 年 同 行 休 朝   |
|                 | 製魚対策本等の設置            | 株名手向17分別<br>事務室に常駐する連絡接当の体制  |
|                 | REMETERS             | 千葉県教育庁(教職員部管理室)への第一報、連絡、飲明経過の数定  |
|                 |                      | 干集条款實庁(歌歌員課管理室)に確認しながら指示を仰ぐ(マスコミ対策を金額に)接近の数  |
|                 |                      | 任告人・個人発生現場との連絡・指示体制  |
|                 |                      | 要等との連絡・調整体制  |
| で内の急病人・怪我人発生の危機 |                      | マスコミとの連絡・調整体制  |
|                 |                      | 必要な情報整理マニュアル(時間・場所・発生時の状況)   |
|                 |                      | » (極致人・病人は誰か)  |
|                 |                      | *(後護者との連絡はとれたか)  |
|                 | 現場の単複                | 職員の選連体制(技内)  |
|                 |                      | 職員の調達体制(技内の職員が少ない場合の出物保護)<br>技術配置顕著必要な書類の要要(指でもわかるように)   |
|                 |                      | 数員名簿-生能名簿の設置   |
|                 |                      | 職員・生殖の住民職設置 1015年1015日1015日1015日1015日1015日1015日1015日   |
|                 |                      | 職員・生信緊急連絡生の整備・一覧の設置  |
|                 |                      | SECULE AND ADDRESS OF THE PROPERTY OF THE PROP |
|                 |                      | 職員・生催の健康管理情報の保管場所の周知(整備を顕等不在時にもわかるように)   |
|                 |                      | 供帯電話・テレフォンカード・小鉄件参   |
|                 |                      | 國係機關(生後入至直致等)連絡一覧  |
|                 | 日常の指導体制              | 盤任・職閥不在の活動の厳禁  |
|                 |                      | 製造時の連絡方法の確認  |
|                 |                      | 健康状態の影響<br>必急処置のマニュアル  |
|                 |                      | 応急機震の訓練  |
|                 | 事後対応:心のケア            | カウンセラーの配置  |
|                 |                      | 学校医の協力   |
|                 | 事後対応:説明責任(アカウンタビリティ) | <b>保護者会の関値(事実の説明)</b>  |
|                 |                      | マスコミ対策   |

| 11/2       | 104  |
|------------|--|
| (9.0)      | 80   |
| 発生内容<br>内容 | スタールバス後部と自家<br>用車前部の程像な塗制、<br>バス側は気付かず学校窓<br>ロまで被害者が進路承校 |
| 対応内容       | 事務長と自該バス運転手<br>が被害者に玄関で対応                                |
| 超基         | 保護費を負担する事で決策   |
| NEA%       | 安全運転の機能  |

|     | 危機管理すべき事項(申項目)   | 危機管理すべき事項(小項目)  |
|-----|--|---|
| 通事核 | 事故発生の遺伝道格手段必要  | <b>介助員が携帯電話を掲行</b>  |
|     | (山間部、後職地帯の場合はどうするか)  | <b>企助員がテレフォンカードを携行</b>  |
|     |  | 全語曲が現金 (小幅) 影視行   |
|     |  | 原識の定領-体宅の電話を使用  |
|     |  | 他の重行原則(相手の連絡化を開)に依頼する   |
|     | 事物発生の連絡  | 製金連載を一覧をスタールパスに銀行   |
|     |  | 110# 110###   |
|     |  | 110基。110基基础<br>学帐片基础  |
|     | 事業理事の表別体制  | 運転手の対応  |
|     |  | <b>企助最内制度</b>   |
|     |  | 機能の正式がある場合、機能<br>生態の経過の対応<br>生態のが連載を  |
|     |  | <b>国際の経済の会長</b><br>日本の経済の研究   |
|     | 1  | 三葉が生徒の対象  |
|     | 製造対策本部の設置  | 工程の上面中間   |
|     | <b>高速対策中部心脈脈</b>   | ######################################  |
|     |  | 十進業業界庁(原規美護業務室)に確認しなから技術を分ぐ(オスコミ対策を意識に)   |
|     |  | 事業を見のバスとの主席・自己  |
|     | 学校による事政策場の掌握   | 通明型 日音を基明度 二面配合する<br>長色の地面で連携の対象<br>スクールパスを行成 できませい 受着主張を確認<br>国真を回復 (学校から配真を過速)  |
|     | 1  | 最新の地図で専門の確認   |
|     |  | スケールバス運行表で乗車生徒・骨機生性を確認  |
|     | 1  | 「職員を原連(学校から職員を返進)   |
|     |  | 商業を開連(付款に無核の職業)   |
|     |  | 衛島を選進(付近を定行中の職員)  |
|     |  | 国員の選手電話番号の一覧  |
|     |  | 国産の技術館  |
|     |  |   |
|     |  | 表示の必要を与っているを知っていること<br>をませったがを表現(学校から開発を記載)<br>をませったがを表現(学校から開発を記載)<br>をませったが、というには、「では、「では、「では、「では、「では、」では、「は、」では、「では、「では、「では、」では、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は   |
|     | 展集代誉輸集体制の衛展  | BEAGARANA PRO N. WASHES   |
|     | Secretarion and the second sec | 表面ののの地域を開発(が対し、関係がよる事業を構造)<br>・   |
|     |  | 原金工の企業を開催 (日本に信息 ) 9 場合との出土<br>金をよったはない場合とは、10 年 1 日本には、10 日本にはは、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本には、10 日本に |
|     | 1.   | 是多了少年发生哪些(19年1年19月1日 19年1日 19   |
|     |  | 15世 T V 日本日   日本日   日本日 V 日本日 V 日本日 V   |
|     |  | 四種中の味噌を「水源(水源をの目で)  |
|     |  | 正具む意性疾訟(意味時の反應事態の場合)  |
|     | T-H-SHIP   | 主員の機能経路(下板時の支援事故の場合)  |
|     | パス修理期間中の代替輸送体制の程保  | <b>黒忠スクールバス委員会の関係</b>   |
|     |  | 代車による返還   |
|     |  | THE ACCOUNT OF THE PROPERTY OF  |
|     | a la company of the c | 青少年高数のバスを使用し返還  |
|     |  | 保護者による通道<br>所名目板の決定   |
|     |  | 時甚回吸の決定   |
|     |  | <b>在提出工事</b> 相  |
|     |  | THE RESERVE WAS A STREET  |
|     | 監視責任(アカウンタビリティ)  | (1.5   1      |
|     | multiplication and a second  | マスコミ対策  |

|                                    | VXIII  |
|------------------------------------|--|
| ECHET-COMP C                       |  |
| 事 質 の遊童電子ペラ高道(中度目)                 | 左側管理すべき事項(小項目)   |
| パスジャック 発息対策事態の設置                   | 管理との連絡-調整  |
|                                    | マスコミとの連絡・調整  |
|                                    | · 情報整理 (時間・場所・仮生時の状況)  |
| l .                                | 情報を提(人質はいないか)  |
|                                    | 帰根登理(発車しているのは誰か)   |
|                                    | 情報要項(侵食人はいないか)<br>情報要項(保養との運搬はとれたか)<br>交換事業の責まと同じ  |
|                                    | 情報整理(保護者との連絡はどれたか)   |
| スタールバス運行中(前)にパンク・ 支速事故の発生と同じ<br>被関 | 交通事験の発生と同じ   |
| 交通表際(路間連報)により運行に 交通事故の意念と同じ        | 交通事業の表生と同じ   |
| 文牌、经路安里                            |  |
| スクールバス特徴中の生徒・保護者                   | を放する   |
| が事故、魚麻                             | 直見させてバスを進行   |
| スタールパス運作中に運転手が急奏                   | 8.8  |
|                                    | /(ス選行中止  |
| TX - 1 - 7 T WILL THE REPORT       | 直転免許を持っている報長を派遣しバス修進   |
| スケールパス運行中に生産が急病                    | BRTS   |
| スクールパス運行中に自然災害(大                   | 選集させてパスを銀行   |
| 地震等)が発生した                          | 証率し申機 学校の指示を得ぐ   |
| 福農寺/か客工した                          | 祖様人の主無視望   |
|                                    | <b>一人の機能を成</b><br>関連部の改置   |
|                                    | 保護者への主要の引援しをどこで行なうか  |
|                                    | そのまま学校に生徒を進んてくるかどうか  |
| [S]                                | 明真の単連の企業性  |
| 60                                 | The same of the sa |

| 世界な意味に対応できるように、中央日と | THE STATE OF THE S | PLAY   |
|---------------------|--|--|
| 大項目                 | 中項目  | - OH H   |
|                     | マニュアル  | スケールパス連行に関する危機対応マニュアル整備                              |
|                     | スタールパス直接整備   | スクールパスの日常点理整備の回行                                     |
|                     | 企業発生の選集連絡平理必要<br>(自団部、日間地帯の場合はどうするか)   | 介的長利用市場延伸行   |
|                     | (日回音: 日間を告の者立(た)1.65)  | 介明真ポテレフォンカードを案件<br>介明真が映金(小蔵)を排行                     |
|                     |  | <b>用限の意味・住宅の管理を使用</b>                                |
|                     | and the second s | 他の連行専測(相手の連絡をを掌握)に依頼する                               |
|                     | 危機発生の運搬  | 是島道地を一覧をスタールパスに提行<br>110番、119番連修                     |
|                     |  | 110番、119番連報<br>駐車し時間 学校の指示を得ぐ                        |
|                     |  | 後収入の有機健康   |
|                     |  | 八人の被害状況  |
|                     |  | <b>建設道路の発</b> 型                                      |
|                     | 北極発生収場の政功体制  | 運転手の対応<br>分類高の対応                                     |
|                     |  | 遊館(進度の登れ等)   |
|                     |  | 生態の性貌の体急措置   |
|                     | <b>協力が第本部の設置</b>   | 生物の介語  |
|                     | <b>展型対象半参り数数</b>   | 連絡指角者を事務室に問題させる<br>事務取締のバスとの連絡・指像                    |
|                     |  | 八ス度計中止か選載が利野   |
|                     |  | <b>东北广皇在の自然以来内容を確認</b>                               |
|                     |  | 最新の地間で発致の復復  |
|                     |  | スケールパス運行者で無原生徒・時間生徒を確認<br>千里県後育庁(後間長護管理室)への第一個、連絡、説明 |
|                     |  | 子童県教育庁(後職員調管理室)に確認しながら指示を紹介(マスコミ対策を念録に)              |
|                     |  | 警察との連絡・調整  |
|                     |  | マスコルとの連絡・調整  |
|                     |  | 理機整理(特別・維別・発生時の状況)<br>理機整理(人質はいないか)                  |
| ールバス運行に関する危機        |  | 情報要類(最享しているのは誰か)                                     |
| 一ルハス連打に関する正像        |  | 情報整理(便能人はいないか)                                       |
|                     | 学校による事物環境の業務   | 情報要項(保護者との選絡はとれたか)                                   |
|                     | 中国による中国知情の単語   | 議員を選進(学校から職員を選進)<br>職員を選進(付近に居住の職員)                  |
|                     | · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·  | 職員を迅速(付定を定行中の職員)                                     |
|                     |  | 展員の携帯電話番号の一覧   |
|                     | in the second se | <b>開発の住所</b> 類                                       |
|                     | l .  | 教育の地域<br>程典金量が、パス体を辿っていること                           |
|                     |  | 運動会許を持っている報告を派遣しバス機造                                 |
|                     | 装造代替輸送体制の推奨  | 保護者への当党の可渡しをどこで行なうか<br>そのまま学校に当徒を進れてくるかどうか           |
|                     |  | 生のまま学校に生産を進れて(るかどうか<br>無重中の生徒を輸送(学校から配員を返進)          |
|                     |  | 意思中の主張を解説(付近に無信する職員を測定)                              |
|                     |  | 集単中の生徒を輸送(付近を走行する職員を返達)                              |
|                     |  | <b>砂機中の保護者に連絡(保護者の携帯電談)</b>                          |
|                     |  | 時機中の保護者に連絡(保護者の自宅)<br>全員の登程底談(登校時の交通事故の場合)           |
|                     |  | 主義の機能建設(下校内の支援事故の場合)                                 |
|                     | 事後対応:パス修理期間中の代替輸造体制の後保   | 緊急スケールバス委員会の開催                                       |
|                     |  | 代表による可愛  |
|                     |  | 建ったスクールバスだけで送達<br>青少年高数のバスを意用し変変                     |
|                     |  | 保護者による政治   |
|                     |  | 持兼自敬の改宣  |
|                     |  | 保護者に選集   |
|                     | 事後対応: 主後、面員の心のケア   | 開係機関(生態人所造政策)に連接                                     |
|                     | 中央内心 工芸 福美州ののケア  | カウンセラーの配置<br>学校長の第月                                  |
|                     | 事後対応: 医研責任(アカウンタビリティ)  | 投資者会の開催(事実の説明)                                       |
|                     |  | マスコミが開   |

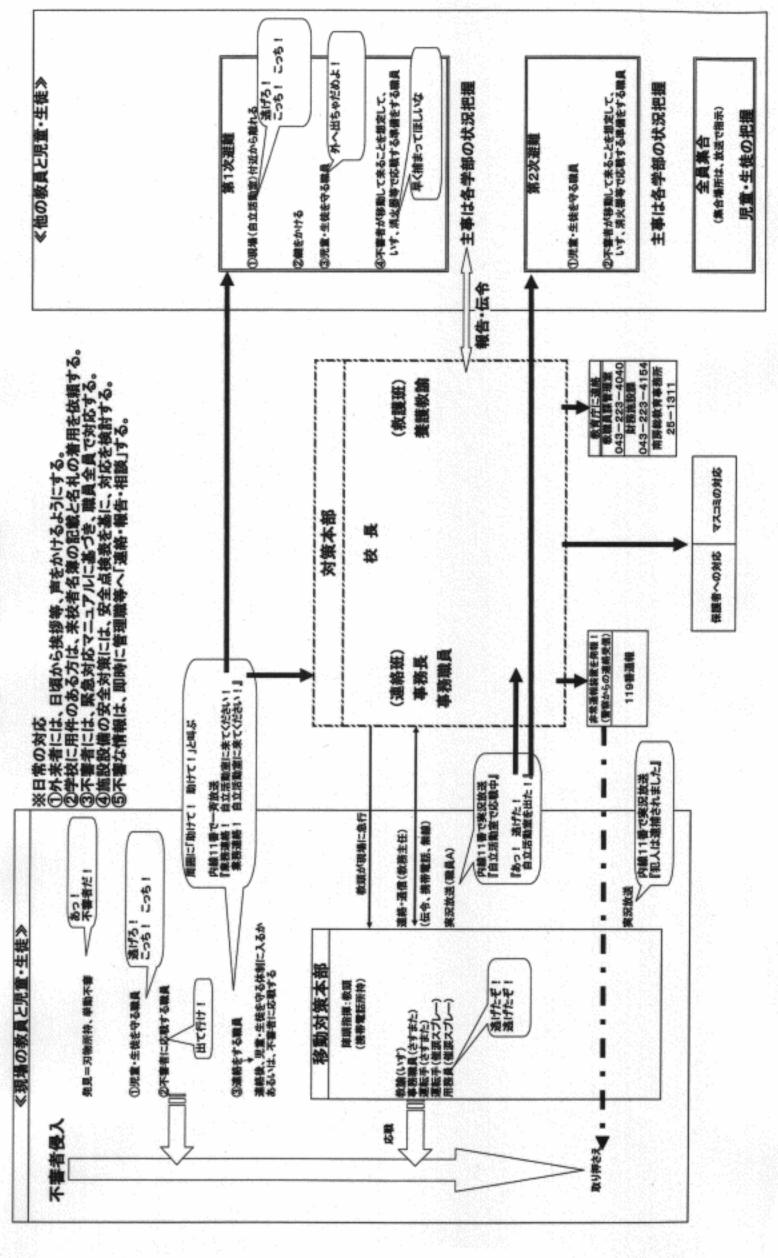
# 5. 学校における危機管理のマネジメント・サイクル (PDCA) と行政評価

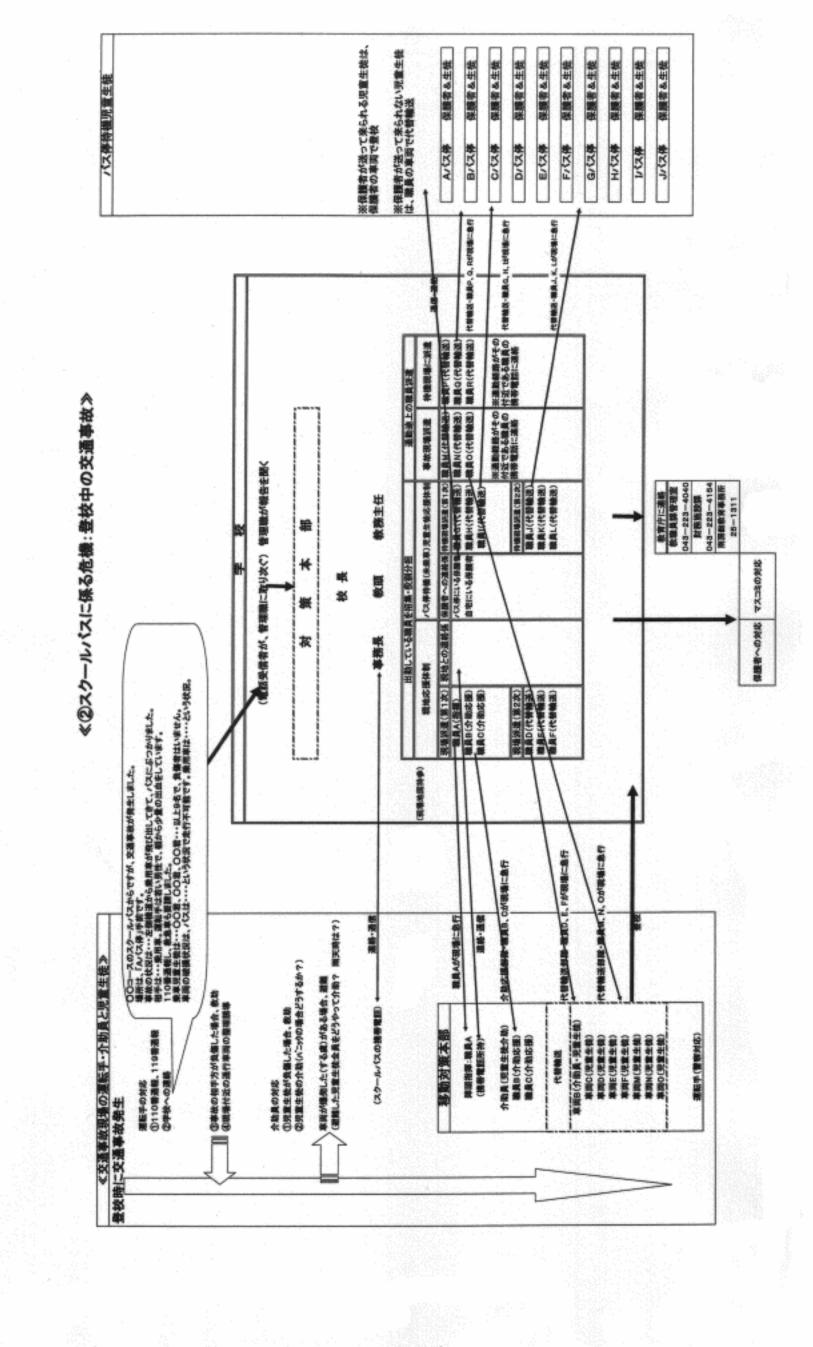
具体的な危機を想定しPLANを作成していく中で、私たちは、どの分類においても共通している事柄が非常に多いことに気がつきました。 つまり、基本的な危機管理ができることが、様々な危機管理にも生かされるということです。言いかえると、基本ができなければ、様々な危機に対応することはできません。 また、各分類における危機管理の表において、事務職員としてやるべき事柄を明確にすることができました。それらをまとめてみたのが下表です。 さらに、事務職員としてやるべき事柄について、その違成度を敷値で表して行政評価をしてみることにしました。(P3 参照)

| E       | 中項目  | 小項目   | 行なった  | 検討した  | 未対応    | 小項目押機 | <b>ф</b> | 質目評価       | 大      |
|---------|--|---|-------|-------|--------|-------|----------|------------|--------|
| 化機管理    | 予防策  | 校門及び周辺の春樹(校門の故障はないか、種類は剪定されているかなど)  |       |       |        | 5     | -        |            | 1      |
| 危機      |  | 不法侵入拒否の者板設置<br>来客出入り口を限定する (裏門の施錠など)  | 5     | -     | -      | 5     | 1        |            | 1      |
| 合の危機    |  | 来客の完全掌握(助犯カメラ設置、チャイム設置など)   |       | 1     |        |       | 22       | 62.95      |        |
|         |  | 楽案受付簿・入投許可証の設置  | - 5   |       |        | - 5   |          |            |        |
| 危機      |  | 職員や警備員による学校内外の返回  |       |       | 0      | 0     | -        | 1          |        |
| の危機     |  | 学校周辺の書店・住民との連携 (不審者祭見の情報提供など)<br>不審者侵入の対応マニュアルなどの整備                               | 4     | 1     |        | -     | +-       | 80, 0%     | 4      |
| ALC: UK | 110  | 職員の訓練の実施  | 3     | 1     |        | 3     | +-       | 00,00      | 1      |
|         | 1  | 職員・生機・保護者・関係機関の合同制練   |       |       | 0      | 0     | 8.       | 53.3%      | 1      |
|         |  | 応急処置の劉線   | - 5   |       |        | - 5   | 1        |            |        |
|         |  | <b>製造受信メモの作成及び回覧</b>  |       | 1     | -      |       | 2        | 20.0%      | 1      |
|         | 窓口対応   | を認内容の教音<br>対応場所の設定(窓口、応接室等)   | -     |       | -      | -     | -        | -          | 1      |
|         | MA CARD  | 緊急連絡方法の確保(電話、非常ポタン等で対応)   | -     | 1     | 27.77  | 1     | 1 .      | 45.00      | 1      |
|         | 1 .1   | 相手の持ち物の確認(凶器、不審物の所持等)   |       |       | 0      | 0     | 3        | 15.0%      | 1      |
|         |  | 必要に応じ録音機器の用意(ダミー防犯カメラの設置も)  |       |       |        |       | _        |            | 4      |
|         |  | 危機発生現場からの110番(非常道報装置)、119番通報<br>径投人の有無を報告(校内・校外)                                  | 5     | 1     | -      | 1     | -        | 1          | 1      |
|         | (校外、山関部の場合も含む)   | 後女人の有無を報音(女内・女介)<br>関辺道路の状況を報告(校外)  |       | 1     | -      | 1     | -        | 1          | 1      |
|         |  | #帯電話を揚行(役内・投外)  | 5     | -     |        | 5     | 1        | 1          | 1.35   |
|         | 1  | テレフォンカードを携行(校外)   |       | 1     | 2.3.1  | - 1   | 1        | 1          | 133    |
| l       |  | 公衆電話用の現金(小銭)を携行(校外)   |       | 1     | 1.23   | 1     |          |            |        |
|         |  | 内線電話で連絡(校内)<br>長級で連絡(初中・かめ)   | 5     |       |        | 5     | 37       | 56, 9%     |        |
|         |  | 無線で連絡(校内・校外)<br>ハンドマイクで連絡(校内・校外)  |       | 1     | -      | 1     | 1        | 1          | 1      |
|         | 1  | 走って連絡(校内・校外)  | 5     | -     | -      | 5     | 1        |            |        |
|         | l i  | <b>日団の者に連絡を頼む</b>   | 5     |       | 1 1    | 5     | 1        |            |        |
|         | 1  | 校外では他の通行車両(相手の道路先を掌握)に依頼する  |       | 1     | 12.5   | 1     | 1        |            |        |
|         | NAMES OF TAXABLE PARTY.  | SA連絡集一覧をスクールバスに携行   | 5     |       |        | 5     | -        | -          | 1      |
|         | 通信連絡体制の確保<br>(対策本部、事務室)  | ・ 別議員不在時も事務を以外で受信・発信できる管理機や切得装置の設置<br>・ 教務室以外の管所も、外籍機信可能にする                       | 5     | 1     | -      | 1     | 1        |            | 1,0    |
|         | [9   | 管理職員に連絡(緊急連絡先の把握)   | 5     | -     |        | 5     | 1        |            | 1000   |
|         |  | <b>ウ内関係部署に連絡</b>  | 5     |       |        | 5     | 1        |            |        |
|         |  | 長悪の事態を念頭に置いた連絡体制確保  | 5     |       | - 11   | - 5   | 1        | · .        | 133    |
|         |  | 龍員の部屋不在時の所在明記(特に保健室)  | 5     |       |        | 5     |          |            | 1      |
|         |  | 必要に応じ全体に緊急放送<br>を整定なこの110号(水学等級水学) 110号等級   | 5     |       | -      | 5     | 56       | 86, 25     | 1      |
|         |  | 事務室からの110巻(非常道報装置)、119番道報<br>内線電話の一覧  | 5     | -     | -      | - 0   | 1        |            |        |
|         | l K  | は異名等・生徒名簿(住所録) 設置   | 5     |       |        | 5     | 1        |            | -      |
|         | l l  | 劉張機關連絡先(教育庁、関係官公庁、生徒入所施設等々)―覧設置   | 5     |       |        | 5     | 1        |            |        |
| - 1     |  | <b>並員・生徒緊急連絡先(携帯電話番号等)の整備・一覧を事務室に配置</b>   | 2     |       |        | 2     |          |            |        |
|         | 危機発生現場の敷助・応援・  | 1使写真台梯設置  | 3     | -     |        | 3     | -        | _          |        |
|         |  | 地見省による歌明<br>さすまた等防衛用道具の使用・準備  | 5     | -     | 1      | 5     | 1        | 1.0        | 100    |
|         |  | 「審者の進路を塞ぐ為に門扉を閉めるかどうかの判断(P35のQ&A参照)   | 5     |       |        | 5     |          | 0.55       | 311    |
|         |  | F審者の写真を撮影するかどうかの判断(P35のQ&A参照)   | 5     |       | 1 22   | 5     |          | 1 1 1 1    | 1      |
|         |  | ■力をふるわれた場合の対応:正当防衛の判断(P35のQ&A参照)  | 5     |       |        | 5     |          |            |        |
|         | 1  | 放急車手配をしたか確認<br>要等への選帳をしたか確認   | 5     |       | -      | 5     |          |            |        |
|         | l l  | を構への推模をしたが確認<br>を接職員の派遣(校内)   | 5     |       |        | 5     | -        |            |        |
|         | 15   | と接触員の派遣(校外に、近隣居住職員を派遣)  | 5     |       |        | 5     | 77       | 96.3%      |        |
|         | 9  | 影機微論・保健主事の派遣  | 5     |       |        | 5     |          |            |        |
|         | Į.   | <b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>                                       | 5     | -     |        | 5     | -        |            |        |
|         |  | <b>旦架・救命セットの常備</b><br>■異全員が、通学路やスクールパスの停留所を知っていること(職員派遣のため)                       | 5     | -     |        | 9     | 1        |            | 1      |
|         |  | は<br>動力を<br>は<br>動力を<br>では<br>では<br>では<br>では<br>では<br>では<br>では<br>では<br>では<br>では  | 5     | -     |        | 5     | 1        |            | 13     |
|         | li li  | 現場の確認及び記録(カメラ・筆記具)  | 5     |       | 1.2    | 5     |          |            |        |
|         |  | 現場処理及び処理内容の記録   | - 5   |       | 100    | - 5   |          |            |        |
|         | 緊急対策本部の設置  | を   | 1     | 1     | 25 X 1 | 1     | -        |            |        |
|         |  | アレビ等発表の周辺災害内容を確認<br>次内配置図で場所の確認   | 5     | -     |        | 5     |          |            |        |
|         | [4   | <b>要業時間創表等で担当摂業・クラス確認</b>   | 5     |       |        | 5     | 1        |            |        |
| - 3     | 13   | (象庁発表の自然災害内容を確認   | 5     |       | 1 22   | 5     | ]        |            |        |
|         |  | <b>数新の地図で場所(校外の危機発生現場)の確認</b>   | 5     |       | 2.33   | 5     |          |            |        |
|         |  | スクールバス運行表で乗車生徒・特機生徒を確認 (バスの事故など)<br>(東京新文字 (新聞音楽等理念) への第一部 東北 行即 東北田本             | 5     | -     | -      | 5     | - "      |            |        |
|         |  | F 葉県教育庁 (教職員課管理室) への第一帳、連絡、説明、事故報告<br>- 集県教育庁 (表理員課管理室) に確認しながら指示を存ぐ (マスコミ対策を金頭に) | 5     | -     | -      | 5     | 81       | 95, 3%     | 1      |
|         | 1  | 教育事務所への第一報、連絡、説明  | 5     |       |        | 5     | 1        |            | 1      |
|         |  | <b>育報養理(時間・場所・発生時の状況)</b>   | 5     | Y . 1 | 100    | - 5   | 1        |            | (3)    |
|         | 1  | 柳巻草 (人質はいないか)   | 5     |       | 200    | 5     |          |            | . 22.2 |
|         |  | 青穀整理 (感染ルートはどこからか)  | 5     | -     |        | 5     |          |            |        |
|         |  | 青報整理 (乗車しているのは誰か)<br>青報整理 (怪我人はいないか)  | 5     |       |        | 5     | 1        |            |        |
|         |  | 育報臺灣(施設の被害状況)   | 5     |       | 3.3    | 5     | 1 .      |            |        |
|         |  | <b>育報登理(保護者との道能はとれたか)</b>   | - 5   |       |        | - 5   |          |            |        |
|         | 緊急避難経路の確保  | 間場所の安全確保  |       |       |        |       | 2        | 20.0%      |        |
|         | <b>原来の研究力工力</b>  | で で   |       |       |        | -     |          | 20.0%      | 160    |
|         |  | で全の確認<br>は機発生現場からの代替輸送(職員車両派遣、代車、タクシー等)   |       |       |        | -     |          |            |        |
| 931     | の確保  | <b>・理期間中の代替輸送(青少年施設のバスを借用、代車等)</b>  | 77.77 | i     |        | i     | 2        | 20.0%      |        |
|         | 通学路の検討・指導・周知 き   | 校内関係者の会議  | 3     |       | 111111 | 3     |          | 11.15.2508 | 1      |
| 33      |  | L場 根盤   | 3     |       |        | 3     | 9        | 60.0%      |        |
|         | Nikata tarah andara da karangan da kar | 放放所の把握  | 3     |       |        | 3     |          |            | 100    |
|         |  | 5急処置<br>対急車の手配  |       |       | -      |       | 2        | 20.0%      |        |
| 100     |  | は、主体の健康管理情報の保管場所の把握   |       |       |        |       | 1        | 20, 0%     |        |
|         | 生徒・職員の精神面のケア   | ウンセラーヒー   |       |       |        |       | 2        | 20.0%      | 1      |
| - 1     |  | 校医の協力   |       | 1     |        | 1     |          | 20.0%      |        |
| - 4     | 説明責任(アカウンタビリティ) マ  |   |       |       |        | _     |          |            |        |

<sup>●</sup>学校における危機は、多様にわたり想定ができる。事前に準備できることを把握し (できる限りの準備をする)、実際に起こってから実行できるように心がけておくことが重要である。

# 《①不審者侵入の危機》





| <ol> <li>発生状況の掌握・</li> </ol>  | - 涌 郵                                 | ②救護・通報・搬送      |  |  |  |  |  |
|---|---------------------------------------|----------------|--|--|--|--|--|
| 第一報受信 誰からの  |                                       | 8 音集者の教護       |  |  |  |  |  |
| 第一株女孫 孫からい  | Ť                                     | 8 其清有切权膜       |  |  |  |  |  |
|   | 連絡先は?                                 |                | けが・病気の状態   |  |  |  |  |
| 事件·事故内容   | 第一発見者<br>発生日時 平成 年 月 日( ) 時 分<br>発生場所 |                | 血液型 既往症  |  |  |  |  |
|   | 高事者                                   |                | 加水空 双拉连  |  |  |  |  |
|   | 事件・事效内容                               | 1              |  |  |  |  |  |
|   |                                       | 9 保護者・家族への連絡   | 家族へ連絡<br>(責任者 )<br>誰に連絡がとれたか 父・母・兄弟姉妹・祖父母・配偶者<br>すぐに来れるか   |  |  |  |  |
|   | けが人の有無有・無                             |                | 住所   |  |  |  |  |
|   | けがの程度 意識 有・無<br>呼吸 有・無                | 323            | 電 話  |  |  |  |  |
|   | 参行 可·否<br>出血 有·無                      | 120            | その他  |  |  |  |  |
|   | 骨折 有・無<br>全体への周知 非常放送・あとで間に合う         |                |  |  |  |  |  |
| 見場へ急行するのは誰?   | 校長・依頭・教務・事務長・養護教諭・その他                 | 10 搬送される病院は?   | 病院名  |  |  |  |  |
| 現場との中継者は誰?  | ,                                     |                | 住所<br>電話   |  |  |  |  |
| 数急車の要請は? 不要   | →-119番酒報 ( 時 分)                       | 11 付き添いは誰?     | 養護教諭・その他( )  |  |  |  |  |
| 彩黄叶   | 教急車の誘導は誰が行なう? ( )                     | 12 付き添いの連絡方法は? | 携帯電話→→ 職員緊急連絡一覧に掲載してあるか?<br>テレホンカード  |  |  |  |  |
| 警察の要請は? 不要  | →→ 非常通報装置( 時 分)                       |                | 小銭   |  |  |  |  |
| 20-20-  | 110番道報 ( 時 分)                         | 13 教育庁への報告     | <b>泰職員課管理室 043-223-4040</b>  |  |  |  |  |
|   | パトカーの誘導は誰が行なう? ( )                    |                | 特別支援教育課 043-223-4045<br>財務施設護施設室 043-223-4154  |  |  |  |  |
| 病院搬送の要請は? 必?<br>タクシーの要請は? 必?  |                                       |                | 海際総教育事務所 0438-25-1311  |  |  |  |  |
| 222 WHENTER BY  | と 一大                                  |                |  |  |  |  |  |
|   |                                       |                |  |  |  |  |  |
|   |                                       |                |  |  |  |  |  |
| 事後対応  |                                       |                | G  |  |  |  |  |
| 自衛營備強化 時間   | 帯 場 所 担当者 担当者 内 容                     |                |  |  |  |  |  |
| 1   |                                       |                | ※ 救急車の呼び方  |  |  |  |  |
|   |                                       |                |  |  |  |  |  |
|   |                                       |                | TEL 119  |  |  |  |  |
|   |                                       |                | TEL 119 1 つながったら、「教急です」という。  |  |  |  |  |
|   |                                       |                |  |  |  |  |  |
|   |                                       |                | 1 つながったら、「飲急です」という。<br>2 「〇〇市△△1丁目1番地、〇〇学校です」  |  |  |  |  |
| で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で<br>で |                                       |                | 1 つながったら、「飲意です」という。  |  |  |  |  |
| 連絡協議  |                                       |                | <ol> <li>つながったら、「敬急です」という。</li> <li>「○○市△△1丁目1番地、○○学校です」</li> <li>「○年生の男子、女子が」 「いつ」 「どこで*何分前に、トイレで、階段でなど「どうなった」 *倒れて意識を失っている、チアーゼを起こしている、など具体的に。</li> <li>現在行っている教急処備を報告する。</li> </ol> |  |  |  |  |
| 連絡協議 育庁との連携 教職  |                                       |                | 1 つながったら、「敬意です」という。 2 「〇〇市ΔΔ1丁目1番地、〇〇学校です」 3 「〇年生の男子、女子が」 「いつ」 「どこで*何分前に、トイレで、階段でなど「どうなった」 *倒れて意識を失っている、チアーゼを起こしている、など具体的に。  |  |  |  |  |
| 教育庁との連携 教験<br>特別:<br>施設(  | 員課管理室                                 |                | <ol> <li>つながったら、「敵急です」という。</li> <li>「○○市△△1丁目1番地、○○学校です」</li> <li>「○年生の男子、女子が」 「いつ」 「どこで*何分前に、トイレで、階段でなど「どうなった」 *倒れて意識を失っている、チアーゼを起こしている、など具体的に。</li> <li>現在行っている飲急処備を報告する。</li> </ol> |  |  |  |  |

必ず、誰かが教急車を出迎え、現場へ誘導する。

# 8☆素朴な疑問☆

私たちが実際に体験した事柄を通して感じた疑問について、千葉県警察本部に回答をいただきました。

# Q 1 門扉を閉鎖して不法侵入車両の進路を塞ぐ ことの適否

A. 学校への不法侵入事案対策は、「児童生徒の安全確保」を最優先に考えることが必要です。質問は、学校への不法侵入者が校外に逃走することを防止する趣旨によるものと思われますが、校門を閉鎖すれば、不法侵入者は校内に止まることを余儀なくされ、児童生徒のいる校舎内に向かうことも予想されます。

不法侵入車両の逃走防止のため、施設管理権に基づいて校門を閉めること自体に問題はないと思われますが、学校の安全対策上は、児童生徒の安全確保を最優先に考慮することが必要であり、校門を閉める場合は、児童生徒や教職員等の安全が確保されているか、犯人が危害を加えるおそれはないか等を総合的に判断すべきと思われます。

いずれにせよ、学校に不法侵入者(車両)が侵入 した場合は、児童生徒の安全確保と速やかな警察へ の110番通報を最優先に考えていただきたいと思 います。

# Q2 不法侵入者の写真を撮影することは、肖像権 侵害に当たるか

A. 人には、その承諾なしに、みだりにその容ぼう、 姿態を撮影されない「肖像権」がありますが、肖像 権はいかなる場合においても認められるものではな く、一定の制限があるというのが通説です。

学校管理者が、その施設管理権に基づき、児童生徒や職員の生命、身体の安全を確保するため、あるいは学校施設等の財産を守るための措置として防犯カメラを設置することは、設置の目的、必要性から考えて妥当と思われますが、肖像権侵害を防止するため、

- 防犯カメラの撮影対象区域は、設置目的の達成に必要最小限の範囲とする。
- 校門等の見やすい場所に「許可を得た者以外 の立ち入りを禁止する」、「防犯カメラを設 置している」旨を表示する。
- 撮影した映像や画像の目的外利用を防止する 等の運用基準を定めておく。

などの措置に配意することが必要と思われます。

# Q3 職員が柔剣道の有段者の場合、暴力を振るわれて応戦することの適否。正当防衛と過剰防衛の基準は?

A. 刑法上の「正当防衛」とは、急迫不正の侵害に対して自己または他人の権利(生命、身体、財産等を含む)を防衛するため、やむを得ず行った行為をいいます。

例えば、不法侵入者等が襲いかかって来た場合に、 自分自身、あるいは周りにいる教職員や児童・生徒 等の生命や身体に対する危害を防止するため、これ に応戦する場合などが考えられます。

応戦行為によって相手方に怪我を負わせた場合、 通常であれば傷害罪という犯罪行為に該当します が、その行為が正当防衛に当たると判断された場合 は、違法性を欠くため、犯罪は成立しません。犯罪 が成立するためには、その行為に「違法性」がある ことが必要とされるためです。

しかし、正当防衛が認められるのは、あくまでも、 危険な状態が続いている場合であり、判例では、相 手の攻撃が終わっているのにさらに追撃する行為 や、相手を一撃で倒した後、なおも殴り続ける行為 などについて、正当防衛の限度を超えた過剰防衛で あると判示しているケースもあります。

正当防衛が成立するためには、このほかにもいく つかの要件があり、防衛のためにとった手段が正当 防衛の要件を充たしているか否かについては、個々 のケースにより具体的に判断されることとなります が、過去の裁判例等からみると、「相手の攻撃の程 度に対し、防衛の手段が相当といえる範囲内である か」が判断基準となり、防衛行為が明らかに必要と 認められる限度を超えていれば、過剰防衛を問われ ることとなります。

したがって、職員が柔道の有段者であっても、相手が素手なのか刃物を持っているのか、体格は大きいか小さいか、男性なのか女性なのかなど、彼我の力関係によって「相当」といえる応戦の程度も異なるため、一概には言えませんが、素手で体格も劣っている相手に対して柔道技を用いて過剰な攻撃を加えたり、危険な状態が終わっているのに、なお執拗に攻撃を加えたりする行為は、過剰防衛を問われる場合もあると思われます。

いずれにせよ、相手の様子(人数、性別、体格、 凶器所持の有無等)に応じてどのような対応が妥当 であるかを日頃から検討しておくことが必要と思わ れます。

# 9 さすまたを使った研修

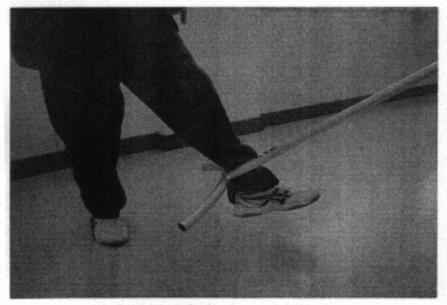
実際にいろいろな場面を想定して,さすまたを使った研修会を行いました。警察官の指導を受けなが ら各自がどのように使用すればよいかを実際に体験 し,また,有効な使用方法についても考えました。



顔面を狙うと相手はひるむ



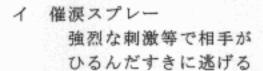
肩から脇に掛けると、さすまたを取られにくい



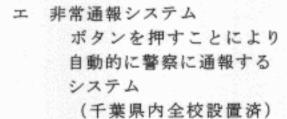
足をすくって転倒させる方法もある

# 参考 防犯グッズ

ア 防犯ブザー 助けを求めるときに とても役立つ。



ウ さすまた 相手の攻撃を防ぐ



オ 防犯カメラ 不法侵入者をチェック する

カ 捕獲網発射器 不審者の動きを封じる











10「精神疾患者・精神障害者の理解と対応」研修概要

平成16年11月29日(月) 슾

千葉県立君津高等学校 応接室 君津健康福祉センター 精神保健福祉課(現:地域保健福祉課) 師: 講

研修内容: 以下のとおり(Q&A方式)

(Q1)明確な線引きはないかもしれないが、人格障害と精神疾患者・精神障害者との違 (素人では、精神疾患者・精神障害者と人格障害者と同一視してしまう

(A1)人格障害者、 精神疾患者、 精神障害者を、包括して「精神障害者」と呼ぶ。

人格障害者は10の分類がある。 ①反社会性(境界性・自己愛性・演技性・反社会性) ②非社会性(依存性・回避性・脅迫性・遭遇性) ③脱社会性(妄想性・分裂病質)

(Q2)精神疾患と精神障害は今まで調べてきて違うものなんだと、なんとなくわかってきたが、違いについて詳しく教えていただきたい。

(A2)精神疾患を有するものが精神障害者

精神障害者とは「精神分裂病(統合失調症)、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質、その他精神疾患を有する者」 精神保健福祉法第5条

(Q3)電話、窓口での対応に ①話し方の留意点は? ③言ってはいけないこと 窓口での対応について

②好ましい話し方は?

やってはいけないことは? (ど)を、上手に打ち切る対応は? こないような対応は?

③言ってはいけないこと、やっては④長い話(意味不明な話など)を、⑤繰り返し電話がかかってこないよ

(A3)電話、窓口対応時のポイント

電話も、窓口も同じよう対応すればよい 但し、窓口の面接とちがって、電話では(相手の姿が見えないため)分かりづらい。 電話は、相手が伝える手段として選択しているものであり、相手の土俵になって しまう。 外観、声調をさりげなく観察する。

外観、声調をさりりなく概念する。 何を伝えたいのか、よーく聞く。 特別な目でみるのではなく、1人の社会人(生活者)としてみる。 学校として受け入れられることなのか、無理なのか(無理はしない)判断 家族、KEY PERSONをできるだけ把握し必要時連絡をとる。

((Q4)どんなときに警察署に110番通報してよいか?

自 傷 行 為 ( リ ス ト カ ッ ト な ど ) 、 他 害 行 為 の 時

((Q5)こちら(学校)を理解してもらうにはどうしたらよいか。

(A5)相手の理解力によるが、学校としてできること、できないことをはっきり伝える。

((Q6)精神疾患者・精神障害者の犯罪行動として、具体的にどういうものがあったか?

(A 6)①放火 ②殺人 ③強姦 ④強盗 ⑤器物 判断能力、責任能力があるかどうかが問われる。 ⑤器物破損やストーカー行為など

(Q7)精神疾患者・精神障害者の中で、犯罪に結びつく行動をするケースはごく一部のようだが、精神疾患者・精神障害者の分類上(分類方法は一つではないようだが)で、そういう行動を起こしやすいものはどういうものか?

7)犯罪発生率では、一般の健常者 0.25%に対して、精神障害者は 0.09%と低い率である。再犯率も、一般の健常者よりも低い。 精神障害者であるからといって、犯罪を起こしやすいというものではない。 (A7)犯罪発生率では、

どのような対応をしていますか? ((Q8)社会復帰をするために、

(A8) ①適切な医療(医)②職業:就労(職)③住む所(住) ④ 友人がいること

(Q9)私たちができること、 やらなくてはいけないことを教えてください。

自分のプライドが傷つけられたときにおかしくなる。 (A9)

①普通の人(健常者)と同じ対応をする。 【精神障害者も孤立化させない。私たちも孤立化しない】 ② (職員が、家族が、友人が)様子がおかしくなったことを(周囲が)早めに気づき、適切な医療を受けること。 【危機管理の哲学】

自分で変えることのできないものを受け入れる・・・**謙虚** 自分で変えることのできることを変えていく・・・・勇気 両方の違いを見分けることのできる力・・・・・**知恵** 

## ーおわりにー

この研究を進める中で、国内外で、新しい事例のニュースが入ってくるたびに、新たな検討すべき項目が増え、 危機管理の難しさとその必要性を強く実感しました。

危機管理にとって最も重要なことは、日々の備えであり意識です。急速に変化する時代の流れを早く的確につかみ、強い意識をもって取り組むことではないでしょうか。「そこまでする必要はない」、「そんなことは起こらないだろう」と考える心の隙間に、危機は発生します。私たちの心の中にこそ危機管理はあります。危機管理とは意識づけの連続とも言えるかもしれません。

また、防犯設備などのハード面だけに頼るのではなく、 職員相互や関係機関との日頃のコミュニケーションや、 危機発生時にいかに迅速に、正確に情報を伝達できるか というソフト面も非常に重要なことであると感じます。

学校における唯一の行政担当職員として、また学校全体を総合的に見つめることができる職員として、事務職員の立場から、児童生徒の安全のために、学校における「危機管理」に大きな役割を果たしてまいりたいと思います。今回発表した内容では、すべての危機を網羅することはできませんでしたが、それぞれの現場での危機管理マニュアルの作成やマネジメントサイクルの実践、個々の危機管理の業務に際しての参考になれば幸いです。

# ≪参考文献≫

- ・子どもを守る学校の危機管理ガイドライン(教育開発研究所)
- ・学校事件 そのアカウンタビリティ(ぎょうせい)
- 精神科リハビリテーション学(へるす出版)
- ・図解リスクマネジメント(東洋経済新報社)
- ・リスクマネジメント研修資料(職員能力開発センター)

# 《主な通知文等》

- ・学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル(文部科学省)
- ・生徒の安全確保及び学校の安全管理について(依頼)平成12年1月17日付け 教指1100号
- 「児童虐待の防止に関する法律」ついて平成12年6月19日付け 教総163号
- ・幼児児童生徒の安全確保及び学校の安全管理についての点検項目(例)の改定について(通知)平成13年9月11日付け 教指1083号
- ・学校等における安全管理対策について平成13年9月25日付け 教総301号

- ・幼児児童生徒の安全確保及び安全管理について(依頼) 平成15年5月14日付け 教保126号
- ・海外修学旅行の安全確保について(通知)平成15年7月18日付け 教指742号
- ・幼児児童生徒の安全確保及び学校の安全管理の一層の 徹底について(通知)

平成15年10月3日付け 教保378号

幼児児童生徒の安全確保及び学校安全管理の一層の徹底について(依頼)

平成15年12月15日付け 教保456号

- ・幼児児童生徒の安全確保に関わる取り組みについて (依頼) 平成16年1月7日付け 教保479号
- ・「学校安全アピールー子供の安全を守るためにー」について 平成16年1月22日付け 教保号外
- ・学校の安全確保のための施策等について (通知) 平成16年2月24日付け 教保517号
- ・千葉県災害対策本部南房総支部運営要綱の制定について(通知)

平成16年3月29日付け 君支(総)87号の2

・幼児児童生徒の安全確保及び学校の安全管理の一層の 徹底について(通知)

平成16年6月30日付け 教保216号

「幼児・児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理について(通知)

平成17年2月18日付け 教保512号

・学校等における安全管理要綱

千葉県公立高等学校事務職員会 君津支部研究グループ

伊藤幸代 天羽高等学校 副主査 君津商業高等学校 副主查 渡邊陽一 木更津高等学校 副主査 町田美智子 副主查 角田良一 君津高等学校 袖ケ浦高等学校 主任主事 大貫和憲 君津青葉高等学校 副主查 草刈真由美 君津養護学校 副主查 溝 口 峰 子 (現) 安房博物館 庶務課長 宇津木規之 (現) 市原高等学校 主 査 山田眞理子 (現) 千葉高等学校 主査 増田一美 (現) 木更津県税事務所 副主査 岡田好正 (現) 関行葉県教育振興財団 副主查 守

(現) 南房総教育事務所 副主査 森 田 勝 利 (現) 船橋高等学校 主 事 小笠原麻衣子